

レイヤー

目 次

1.レイヤーとは	2
レイヤー一覧/読み込み、外部参照図面のレイヤーの扱い 作図する要素のレイヤーを選択 色、太さ、線種の設定/要素のレイヤー変更	
2.レイヤーの作成、編集	12
レイヤーの新規作成/グループの作成/レイヤーの編集 グループの編集/レイヤーの削除/グループの削除	
3.レイヤーの制御	21
レイヤーの表示、検索、印刷、塗りの設定/対象範囲 グループ単位で表示、検索、印刷、塗りを設定/表示・非表示を反転 レイアウト、ビュー単位で色、太さ、線種を変更 フロアの表示・非表示を設定/レイヤー状態のコピーとペースト レイヤー状態やデザインの設定パターンの登録 [レイヤー]パネルでの制御	
4.図面の読み込み、要素の貼り付け	39
レブロ図面の読み込み方法 グループの設定/ファイル名の設定 レブロ図面のレイアウトを追加/要素の貼り付け	
5.レイヤー単位で要素選択	48
レイヤー一覧/選択要素の拡張/選択要素の絞り込み	
6.レイヤーの受け渡し	51
作成したレイヤーを他の図面で使用する 作成したレイヤーを新規図面へ追加する 図面の初期値のレイヤーを既存の図面に追加する Excelを使用してレイヤーの内容を変更する	

更新日：2026/7/31 Rebro2026対応

1.レイヤーとは

「レイヤー」は透明なフィルムのイメージです。要素を作画したフィルムを重ね合わせて1枚の図面が完成します。レイヤーに色、太さ、線種などを設定し、要素の種類ごとにレイヤーを分けることで効率よく作画、編集できます。

バイレイヤーについて

レイヤーに定義された色、太さ、線種を参照することを「バイレイヤー」と言います。

バイレイヤーで作画された要素は色、太さ、線種の情報を持たないため、[表示]タブ-[レイヤー一覧]での設定内容がレイヤー単位で反映されます。

要素に色、太さ、線種を設定することもできます。その場合[レイヤー一覧]の設定は反映されません。

詳細はp.9を参照してください。

レイヤー制御の対象範囲

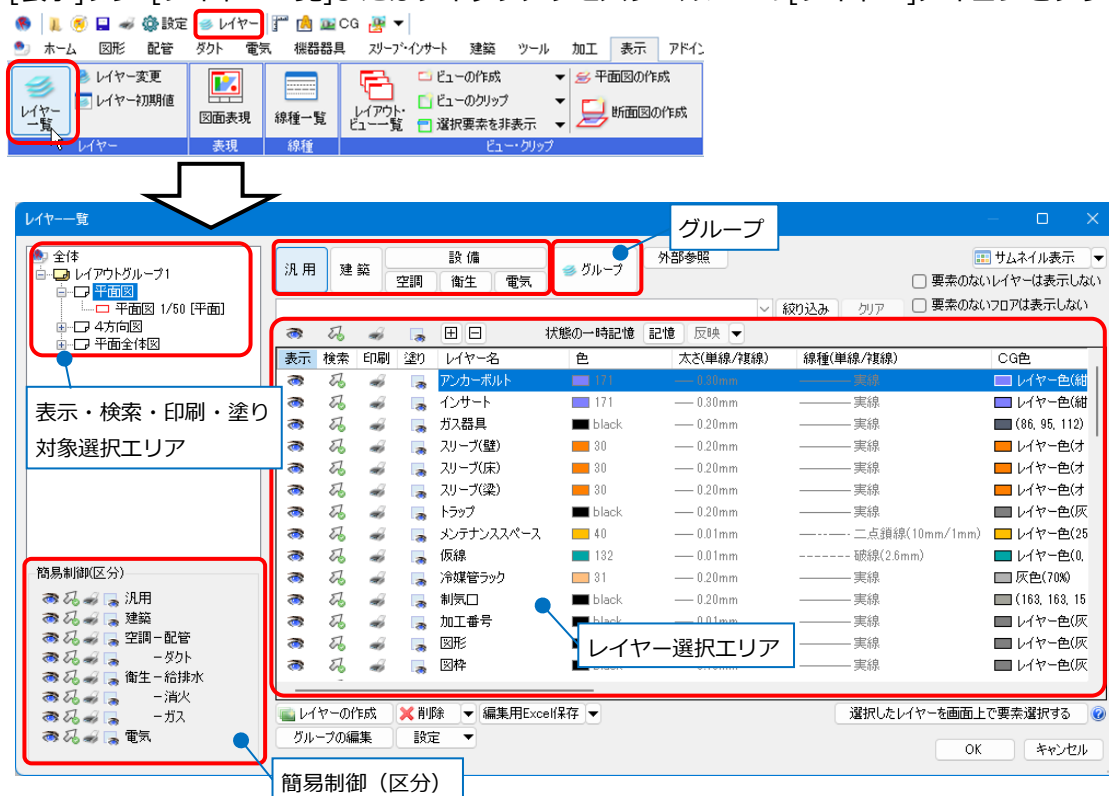
図面全体、レイアウトグループ、レイアウト、ビューごとにレイヤーの表示、検索などを切り替えることができます。例えば複数のレイアウトを設定し、レイアウトごとにレイヤーの表示、非表示を設定することで、1つのファイルで複数の図面を作成することができます。

詳しい操作方法是p.21を参照してください。

レイヤー一覧

レイヤーの閲覧、編集は[レイヤー一覧]で行います。

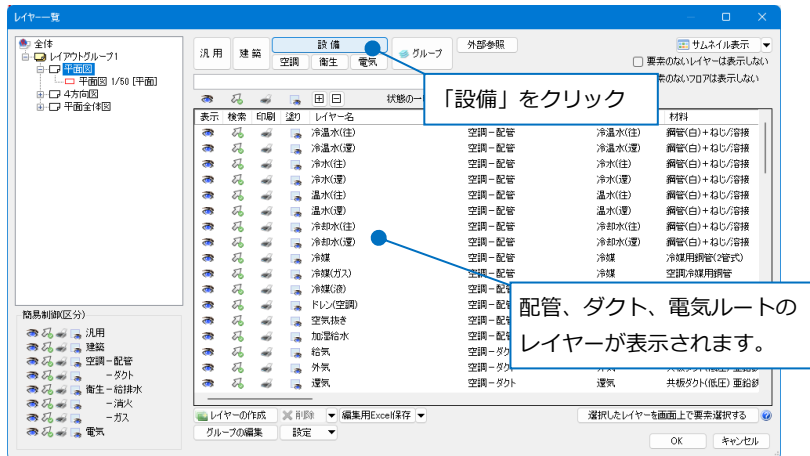
[表示]タブ-[レイヤー一覧]またはクイックアクセスツールバーの[レイヤー]アイコンをクリックします。



[分類][グループ]ボタンでレイヤー選択エリアに表示するレイヤーを切り替えることができます。

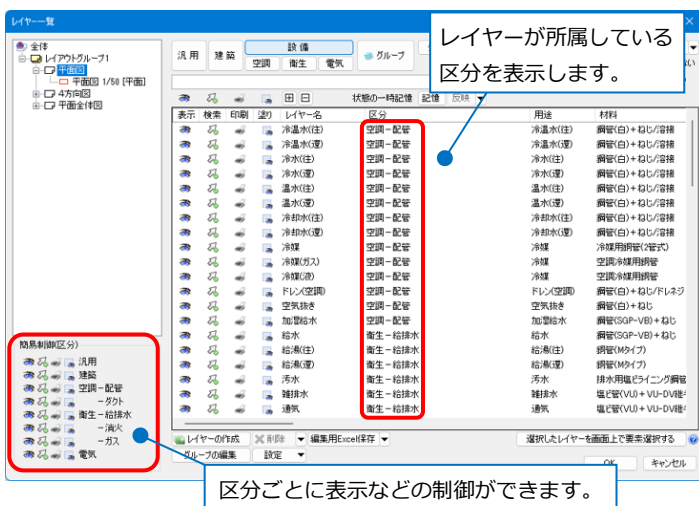
分類

要素の種類によって「汎用」「建築」「設備」に分けます。



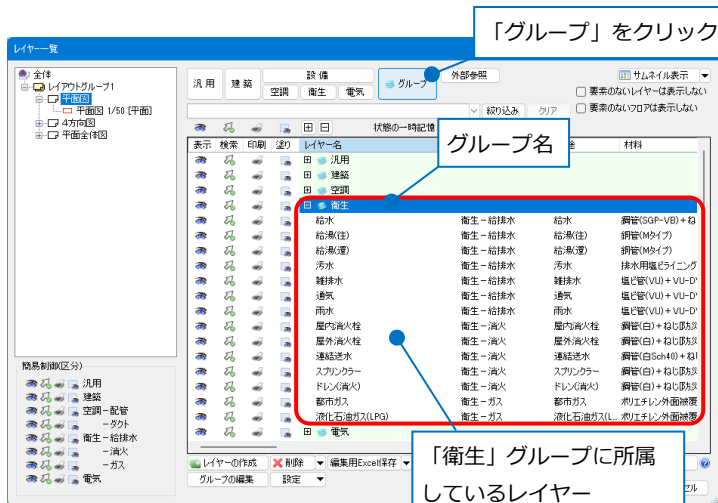
区分

分類を細分化した管理名称です。



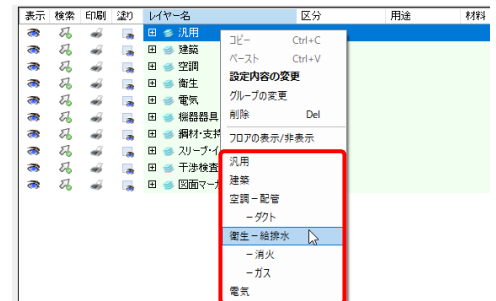
グループ

分類に関係なく複数のレイヤーをまとめます。



Memo

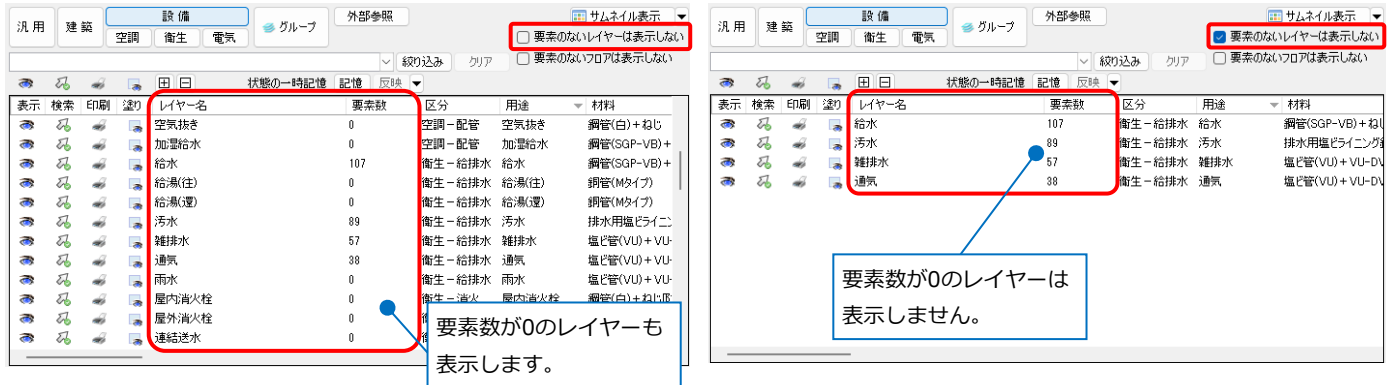
レイヤー選択エリア上で、コンテキストメニューの区分名を選択すると、同じ区分のレイヤーをまとめて選択できます。



● 補足説明

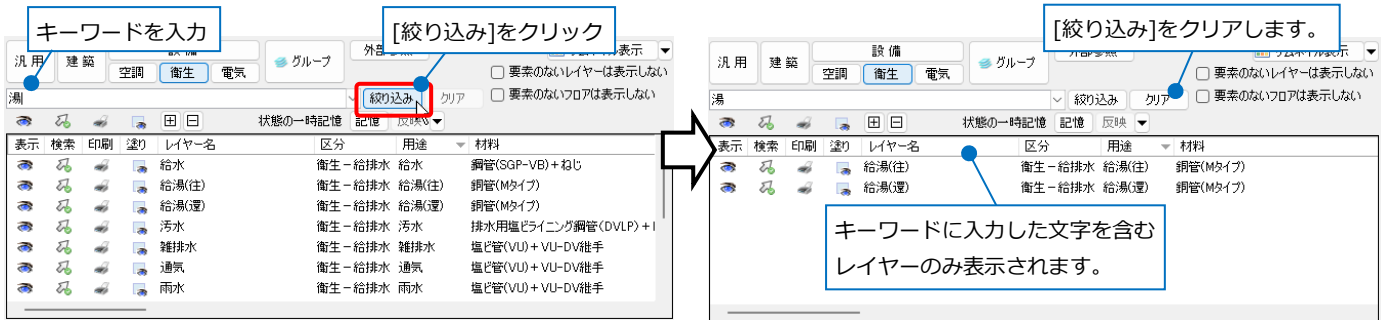
[要素のないレイヤーは表示しない]のチェックが外れている場合は、レイヤー選択エリアにはすべてのレイヤーが表示されます。

チェックを入れた場合、図面上に要素のあるレイヤーのみ表示されます。



キーワードでレイヤー選択エリアに表示するレイヤーを絞り込むことができます。

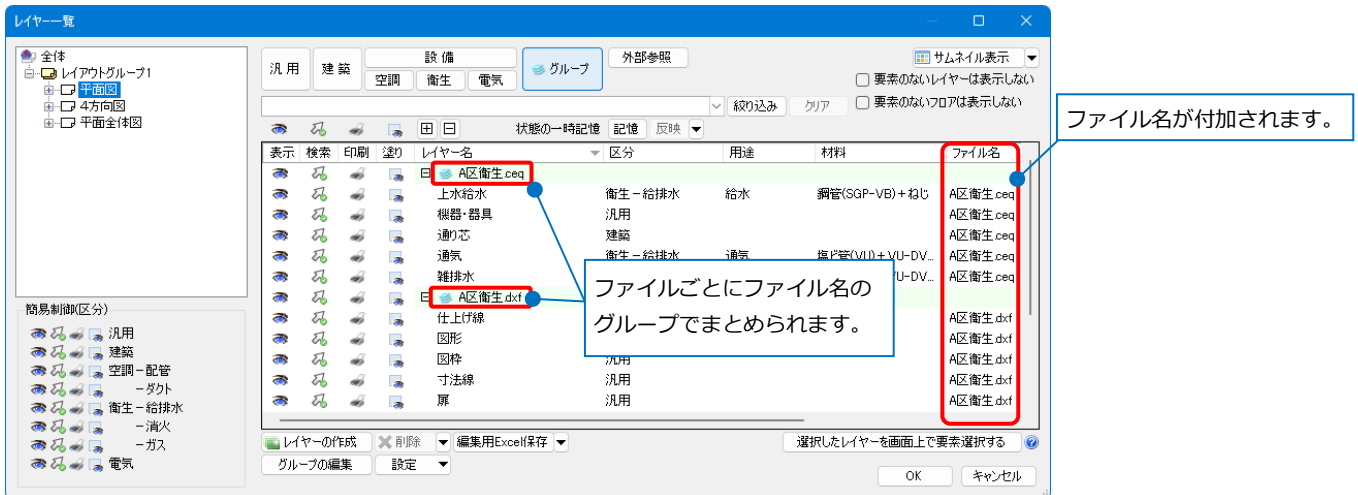
キーワードを空白で区切ることで、複数の語句で絞り込むことができます。



読み込み、外部参照図面のレイヤーの扱い

DXF、DWG、JWW、IFC、BE-Bridge、PDF(CADデータ)ファイルのレイヤー

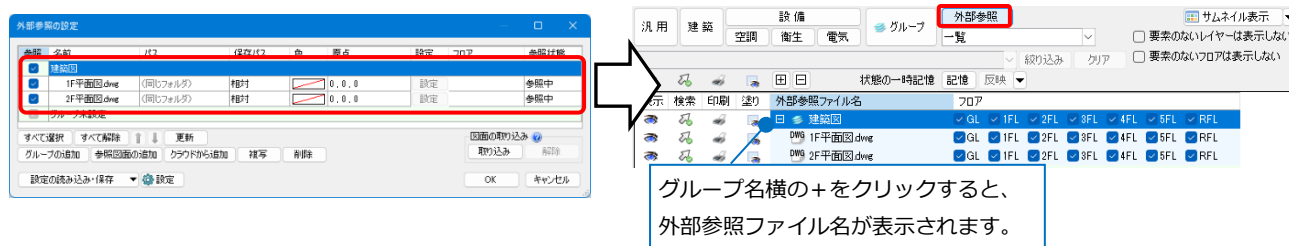
読み込んだDXF、DWG、JWW、IFC、BE-Bridge、PDF(CADデータ)ファイルのレイヤーは、グループにまとまります。また、レイヤーには読み込んだファイル名が付加され、既存のレイヤーと区別されます。



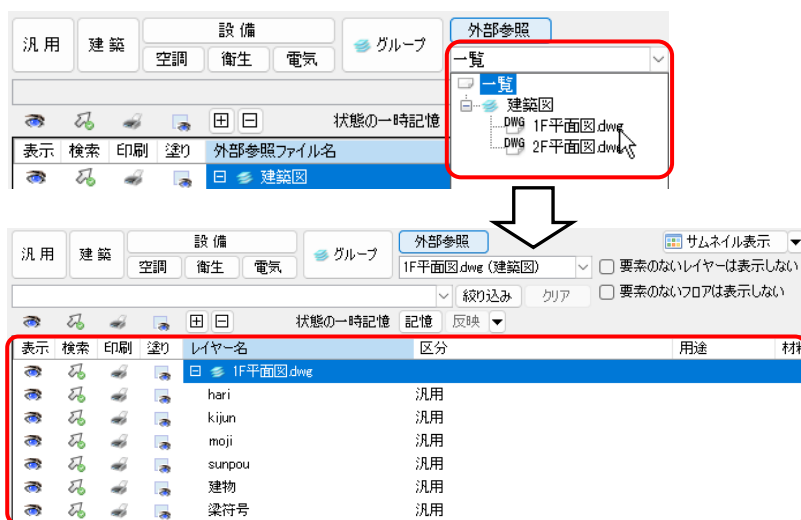
外部参照のレイヤー

外部参照図面のレイヤーの確認や表示状態の変更ができます。

[外部参照]をクリックすると、レイヤー選択エリアに外部参照グループ名とファイル名を表示します。



[一覧]をクリックすると、参照しているファイル名の一覧を表示します。ファイル名を選択すると、レイヤー選択エリアに外部参照ファイルのレイヤーを表示します。

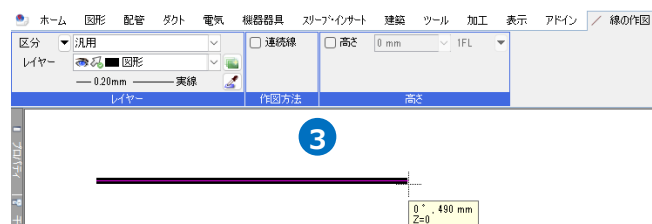
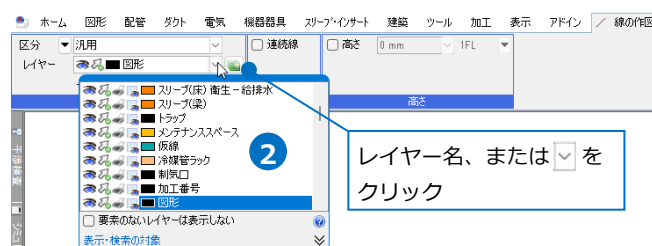


作図する要素のレイヤーを選択

① [図形]タブ-[線]など作図コマンドをクリックします。

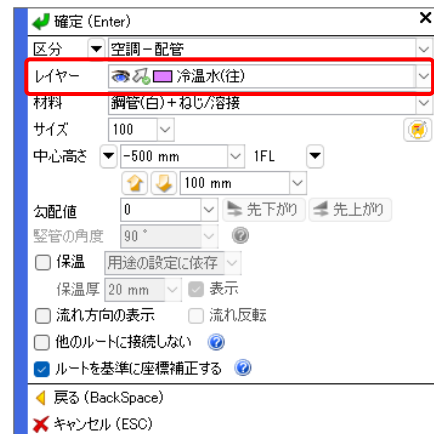
② [レイヤー]のプルダウンメニューから作図する要素のレイヤーを選択します。

③ 選択したレイヤーで作図します。



● 補足説明

[配管]タブ-[配管のルート作図]、[ダクト]タブ-[ダクトのルート作図]、
[電気]タブ-[電気のルート作図]は、コンテキストメニューの[レイヤー]
でも選択することができます。



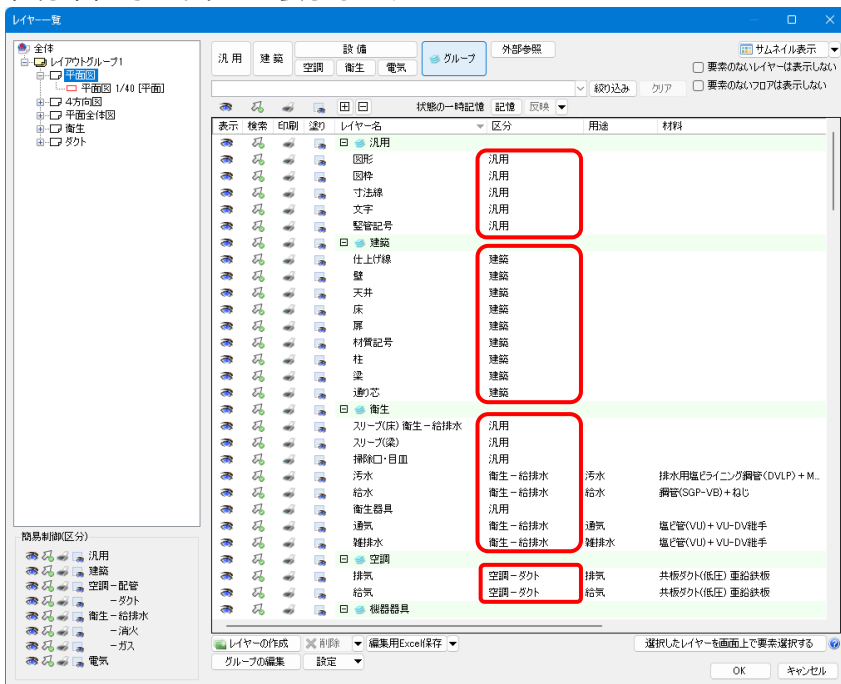
区分/グループの切り替え

作図コマンドのリボン[レイヤー]の[▼]から「区分」または「グループ」を選択し、レイヤーの表示を切り替えます。



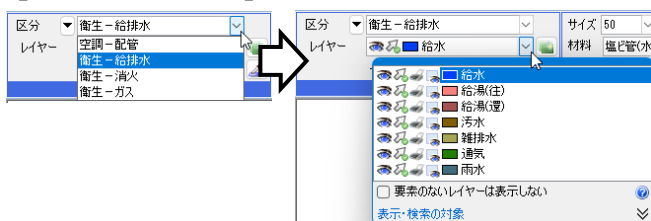
「区分」を選択した場合

区分単位でレイヤーを表示します。



[配管][ダクト][電気]のルート作図のコマンドは選択する区分が設備関連に絞られます。

[配管のルート作図]コマンド

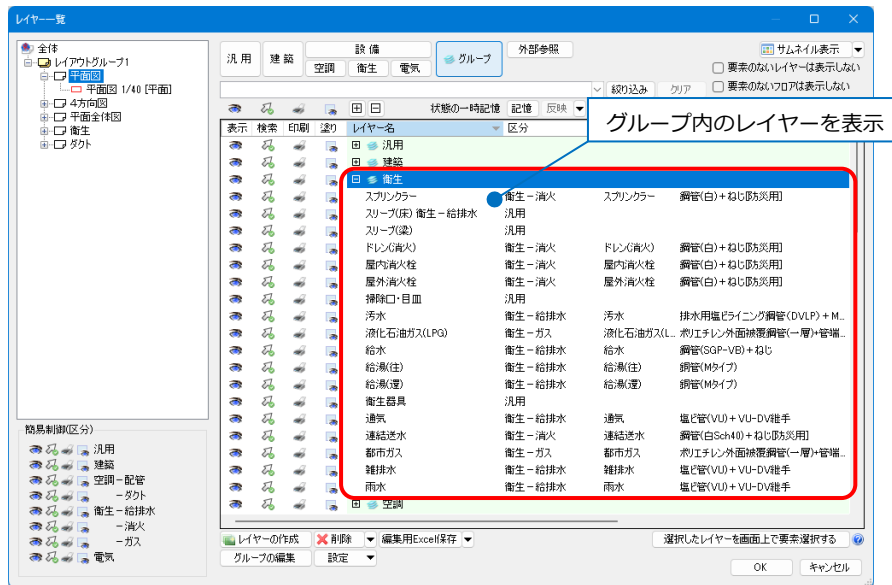


[線の作図]コマンド



「グループ」を選択した場合

[レイヤー一覧]で作成したグループごとにレイヤーを表示します。

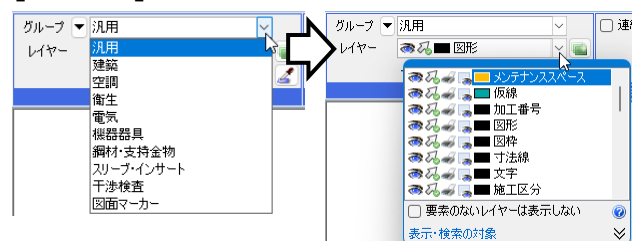


[配管][ダクト][電気]のルート作図のコマンドは、「設備」分類のレイヤーが所属しているグループに絞られます。

[配管のルート作図]コマンド



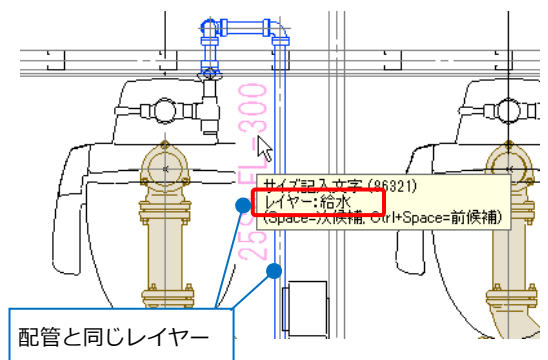
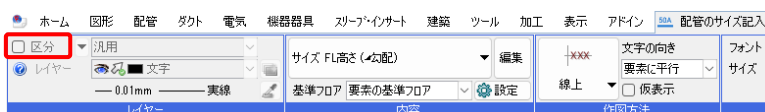
[線の作図]コマンド



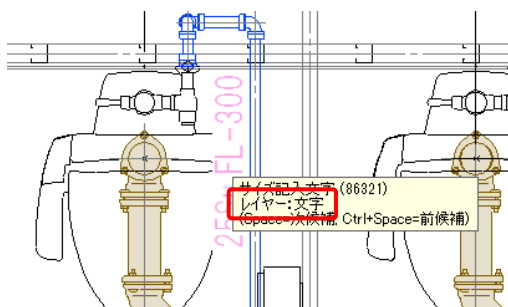
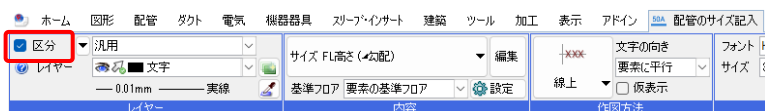
サイズ記入文字のレイヤー選択

[配管][ダクト][建築][電気]タブ-[サイズ記入]、[電気]タブ-[回路番号の記入][長さ記入][点滅区分の記入]、[機器器具]タブ-[機器番号][名称記入]、[スリーブ・インサート]タブ-[名称記入]、[ツール][加工]タブ-[番号記入]、[ツール]タブ-[属性記入]では、記入するサイズ記入文字のレイヤーをリンクする要素と同じレイヤーにするか、別のレイヤーにするかを選択することができます。

リボンで[レイヤー]のチェックを外すと、要素と同じレイヤーで作図します。

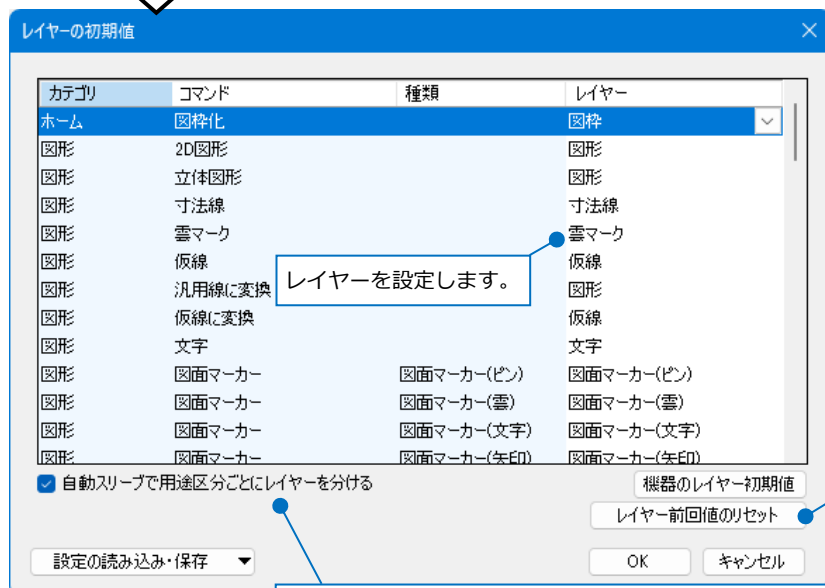
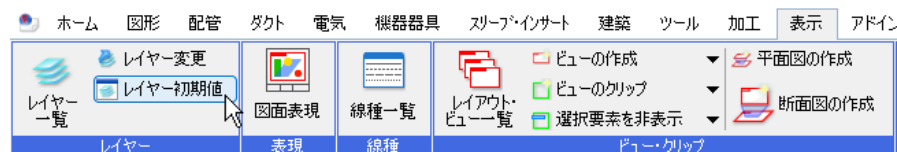


チェックを入れた場合、リボンで指定したレイヤーで作図します。



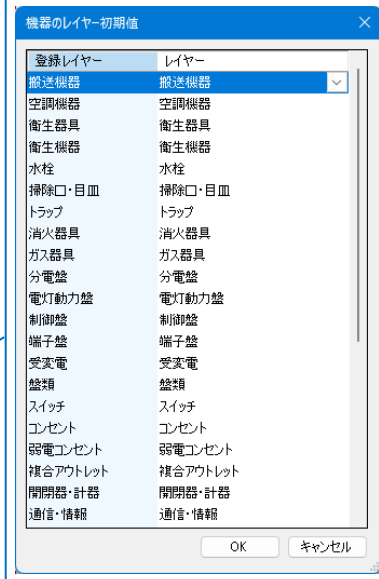
● 補足説明

[表示]タブ-[レイヤー初期値]でコマンドごとのレイヤーの初期値を設定できます。



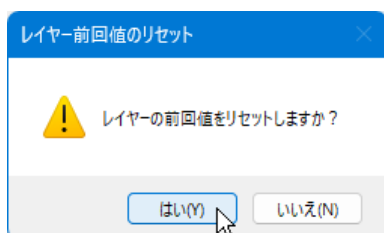
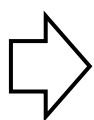
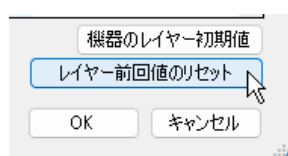
チェックを入れると、[スリーブ・インサート]タブ-[自動挿入]で作図するスリーブのレイヤーを、スリーブを貫通しているルートの用途ごとに分けます。

機器器具、制気口、継手、弁類のレイヤーの初期値が設定できます。



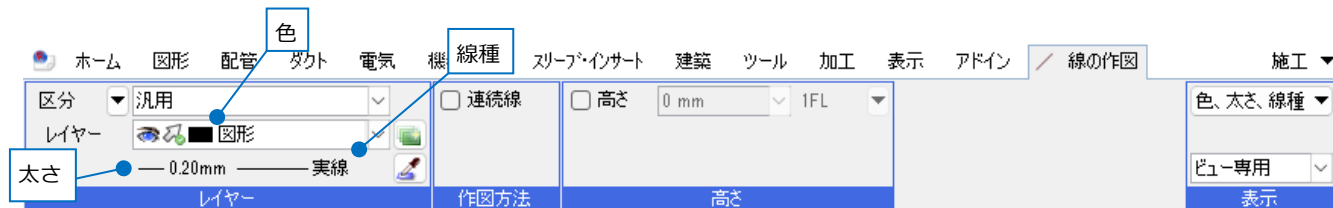
既にコマンドを使用している場合、使用したレイヤーを前回値として記憶しています。

[レイヤー前回値のリセット]をクリックし、[レイヤー前回値のリセット]ダイアログを[はい]で閉じると、各コマンドのレイヤー前回値がリセットされ、[レイヤーの初期値]ダイアログで設定した内容を各コマンドに反映します。



色、太さ、線種の設定

作図コマンドのリボンの[レイヤー]で、選択したレイヤーの色、太さ、線種が確認できます。



作図コマンドのリボン[色、太さ、線種]で「レイヤー色」「レイヤー太さ」「レイヤー線種」にすると、バイレイヤーとなり、レイヤーに設定された色、太さ、線種で作図します。



[色、太さ、線種]を指定すると、作図する要素に色や線種を設定します。
[リセット]をクリックすると、パネルの設定はバイレイヤーに戻ります。



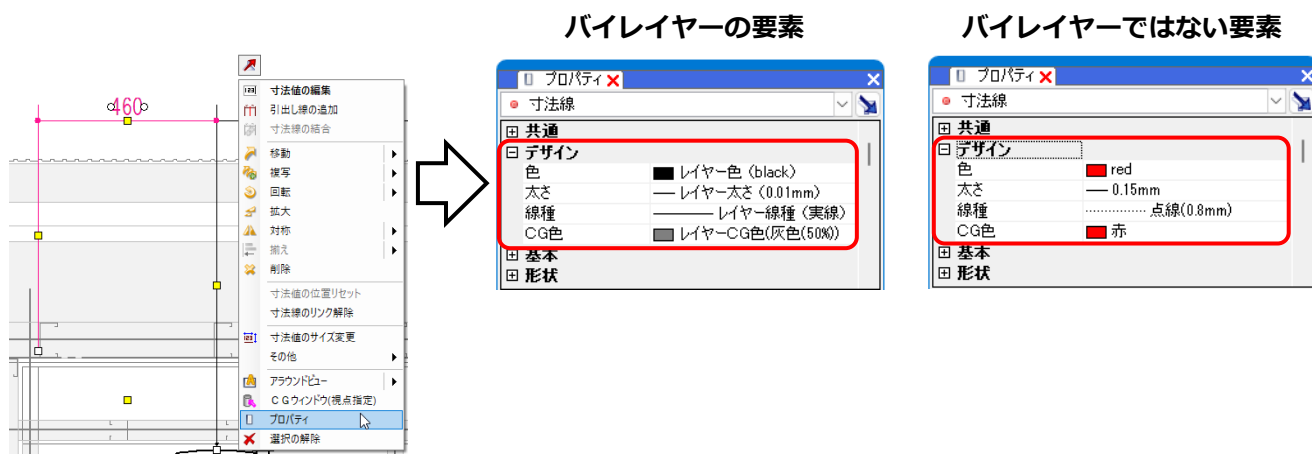
図面上の要素からデザインが取得できます。要素のデザインがバイレイヤーの場合、[バイレイヤーを取得する]のチェックを入れるとバイレイヤーを、チェックを外すとデザインの値を取得できます。

バイレイヤー

作図した要素がレイヤーの設定を参照している状態を「バイレイヤー」と言います。

要素のプロパティ[デザイン]で[色]が「レイヤー色」、[太さ]が「レイヤー太さ」、[線種]が「レイヤー線種」、[CG色]が「レイヤーCG色」と表示される要素はバイレイヤーとなります。

[色][太さ][線種][CG色]が「レイヤー○○」ではない要素はバイレイヤーではなく、要素自体に色、太さ、線種が設定されています。



要素のレイヤー変更

レイヤーを変更すると、変更先のレイヤーの色、太さ、線種に変わります。バイレイヤーでない要素は、色、太さ、線種は変わりません。

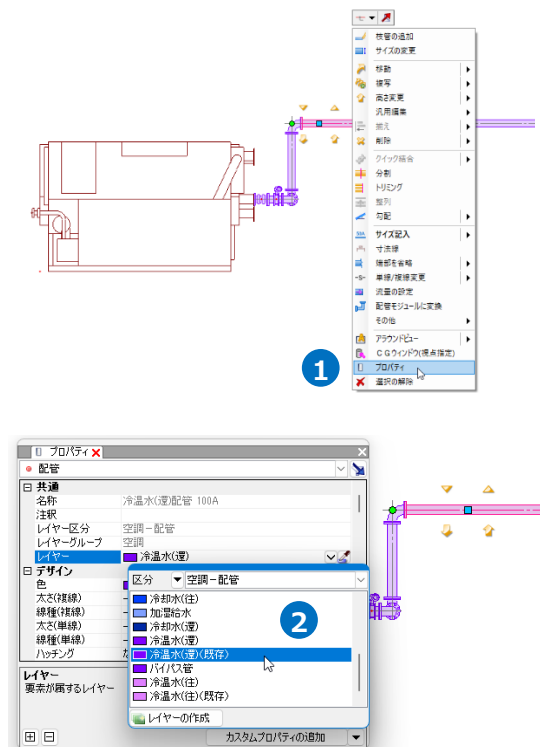
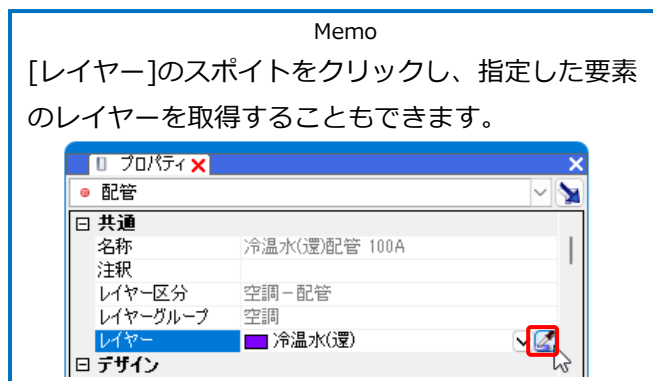
プロパティで変更

- 1 レイヤーを変更する要素を指定し、コンテキストメニューから[プロパティ]をクリックします。

- 2 プロパティの[共通]-[レイヤー]で変更先のレイヤーを選択します。
→指定した要素のレイヤーが変更されます。

Memo

[レイヤー]のスポイトをクリックし、指定した要素のレイヤーを取得することもできます。



[レイヤー変更]で変更

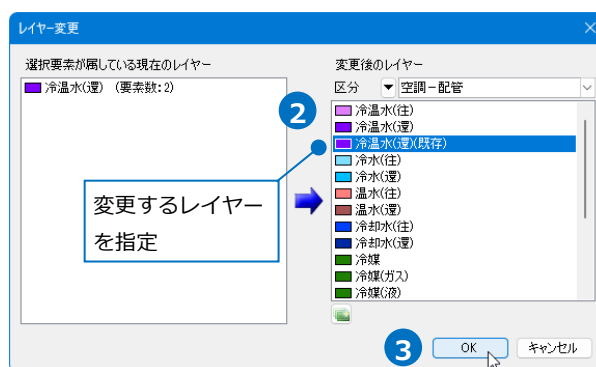
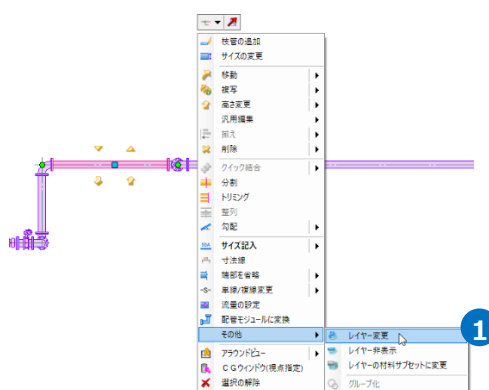
- 1 レイヤーを変更する要素を指定し、コンテキストメニューから[その他]-[レイヤー変更]をクリックします。

- 2 [レイヤー変更]ダイアログより変更先のレイヤーを選択します。

- 3 [OK]をクリックします。
→指定した要素のレイヤーが変更されます。

Memo

用途の属性がある要素は、分類の異なるレイヤーには変更できません。



● 補足説明

配管やダクトのレイヤーを変更した場合は、併せて用途も変わります。

材料サブセットは作図した時の状態を維持します。変更先のレイヤーに設定された材料に変更したい場合は、変更したいルートコンテキストメニューから[その他]-[レイヤーの材料サブセットに変更]で反映します。

バレイヤーの内容がレイヤーの設定に合わせて変更されます。

用途がレイヤーの設定に合わせて変更されます。

作図したルートの材料は変更されません。

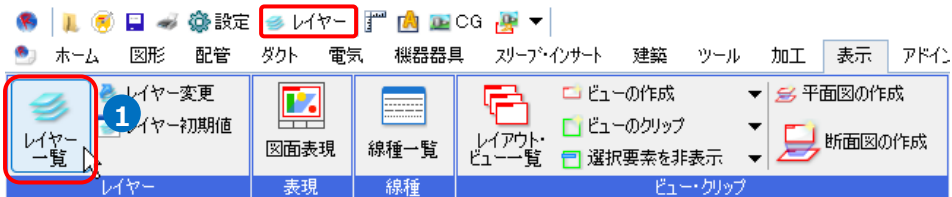
クリックすると、レイヤーに設定した材料に変更されます。

2.レイヤーの作成、編集

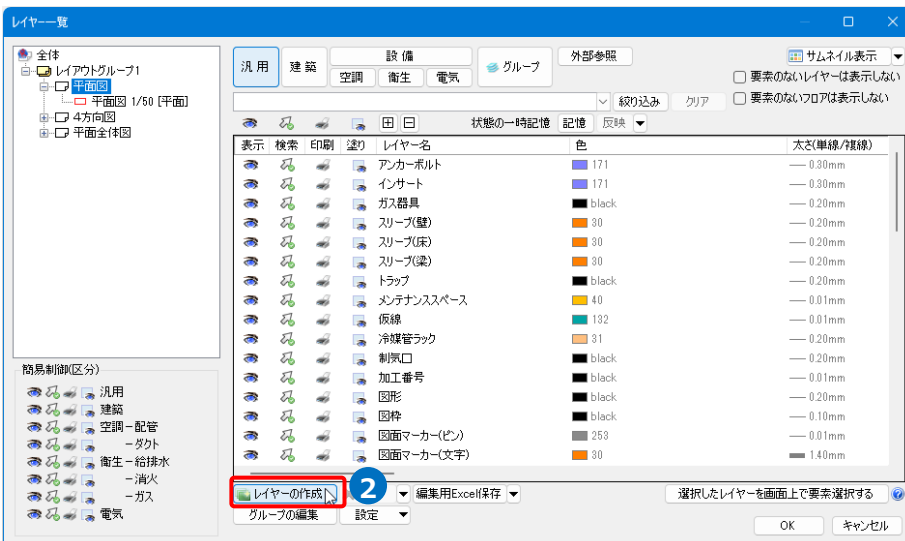
レイヤーの新規作成

新規でレイヤー名を追加します。

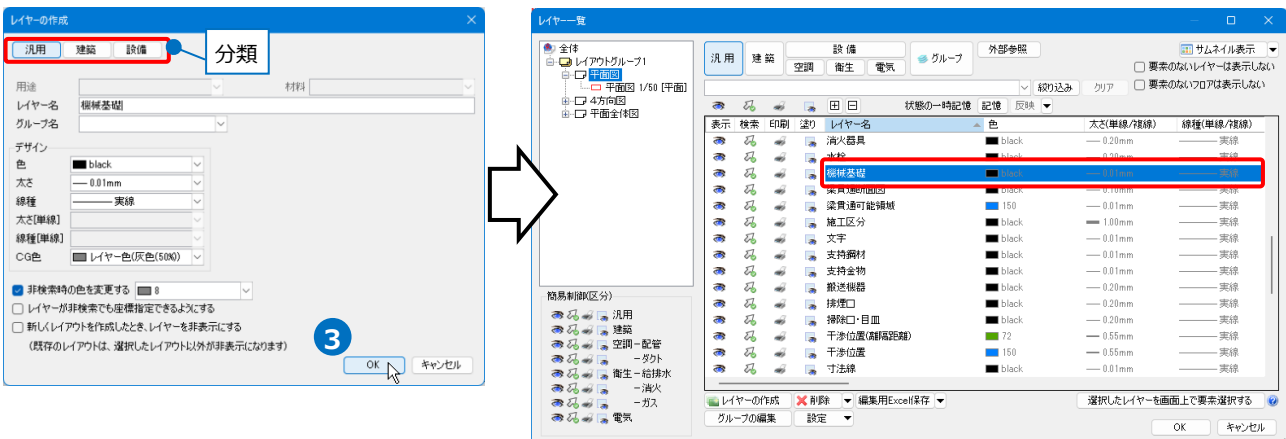
- ① [表示]タブ-[レイヤー一覧]またはクイックアクセスツールバーの[レイヤー]アイコンをクリックします。



- ② [レイヤー一覧]で[レイヤーの作成]をクリックします。



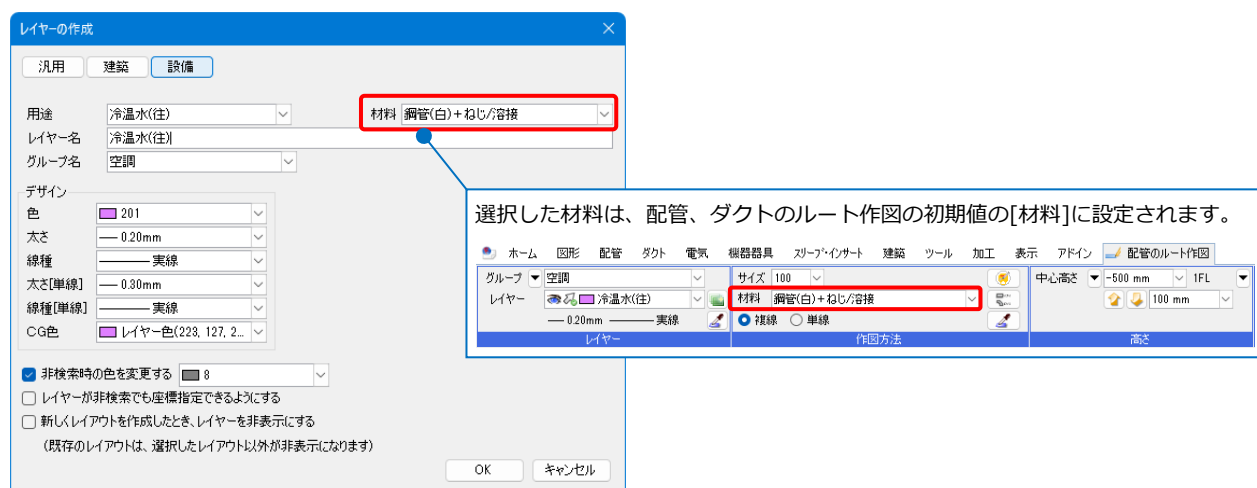
- ③ [レイヤーの作成]ダイアログで分類を選択し、レイヤー名、色、線の太さ、線種などを設定します。
[OK]をクリックし、[レイヤー一覧]も[OK]をクリックして閉じます。



Memo

レイヤー作成後に分類は変更できません。新規でレイヤーを作成し直してください。

[レイヤーの作成]ダイアログ



分類

所属する分類を設定します。躯体を作図する要素のレイヤーを作成する時は「建築」、配管、ダクト、電気ルートのレイヤーを作成する時は「設備」、それ以外の要素のレイヤーを作成する時は「汎用」を選択します。

用途

「設備」分類のレイヤーに用途を設定します。用途はレイヤーに関連付けられ、レイヤーを変更すると用途も変わります。

材料

ルート作図時に指定する材料の初期値です。[配管][ダクト]タブ-[材料の設定]で設定している材料サブセット、または電気材料から選択します。

レイヤー名

レイヤー名称を入力します。

グループ名

所属するレイヤーグループを設定します。グループ名を選択するか、名称を入力して新しいグループを追加します。

デザイン

色、線の太さ、線種、CG色を設定します。

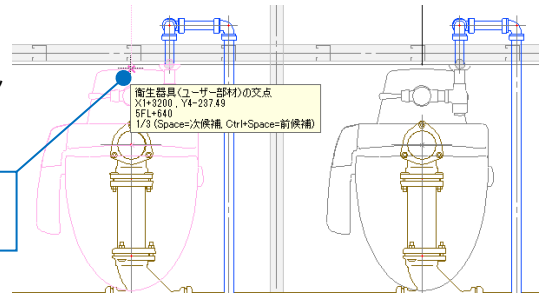
非検索時の色を変更する

チェックを入れると、非検索時のレイヤーの色を設定することができます。チェックを外すと、非検索時も元の色で表示します。(p.21参照)

レイヤーが非検索でも座標指定できるようにする

チェックを入れると、非検索に切り替えた時、Altキーの長押しをしなくても有意点を座標指定できます。(p.21参照)

非検索の状態でも座標指定
ができます。



新しくレイアウトを作成したとき、レイヤーを非表示にする

チェックを入れると、新しく作成したレイアウトではそのレイヤーを非表示にします。既存のレイアウトに対しては、レイヤー作成時に選択されているレイアウト以外で非表示にします。

[レイヤー一覧]以外からのレイヤー作成方法

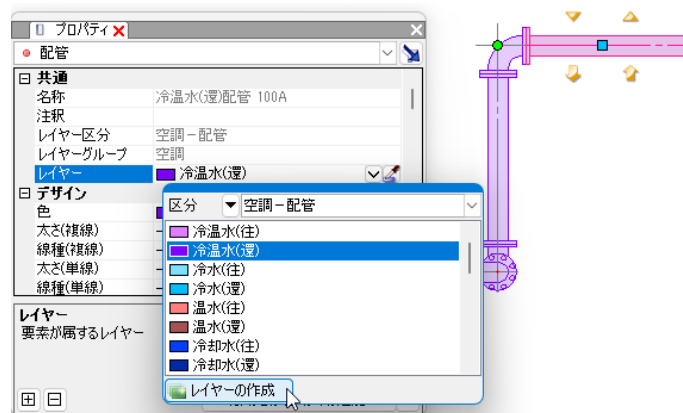
作図コマンドの起動時

[レイヤーの新規作成]アイコンをクリックします。



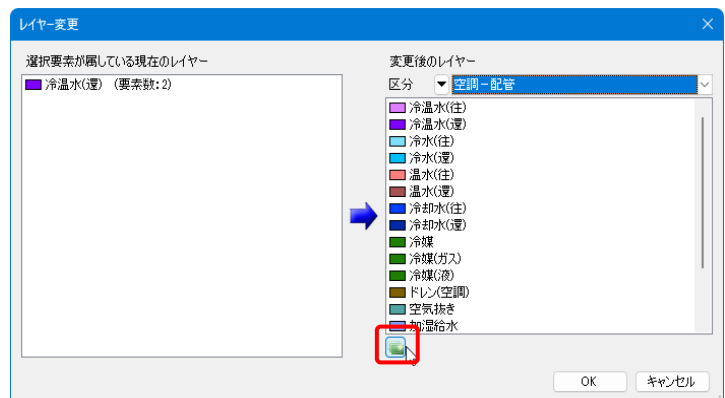
プロパティ

要素のプロパティを開き、[共通]-[レイヤー]でレイヤー名のプルダウンリストにある[レイヤーの作成]をクリックします。



[レイヤー変更]コマンド起動時

コンテキストメニューの[その他]-[レイヤー変更]から[レイヤー変更]ダイアログにある[レイヤーの作成]をクリックします。

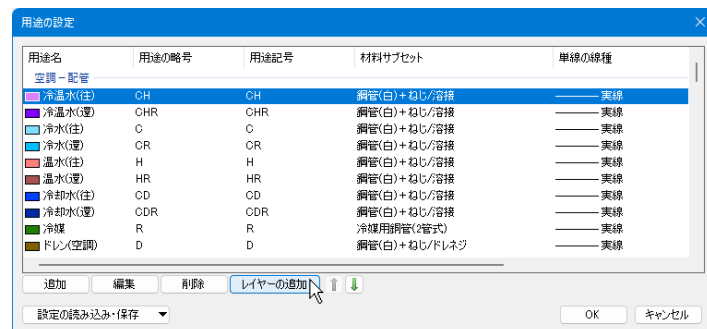


[用途の設定]コマンド起動時

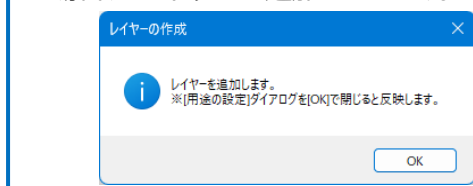
[配管][ダクト]タブ-[用途の設定]または、[電気]タブの[配線記号の設定]横の[▼]-[用途の設定]を開きます。

用途を選択し、[レイヤーの追加]をクリックします。

→選択した用途を元にレイヤーを作成できます。



Memo
[用途の設定]ダイアログを[キャンセル]で閉じた場合、レイヤーは追加されません。



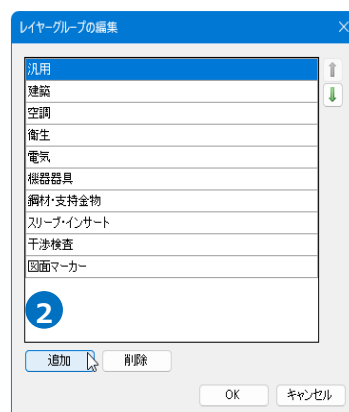
グループの作成

レイヤーが属するレイヤーグループを新規で作成します。

- 1 [レイヤー一覧]で[グループの編集]をクリックします。



- 2 [レイヤーグループの編集]ダイアログで[追加]をクリックします。



- 3 追加するレイヤーグループ名を入力し、[OK]をクリックします。

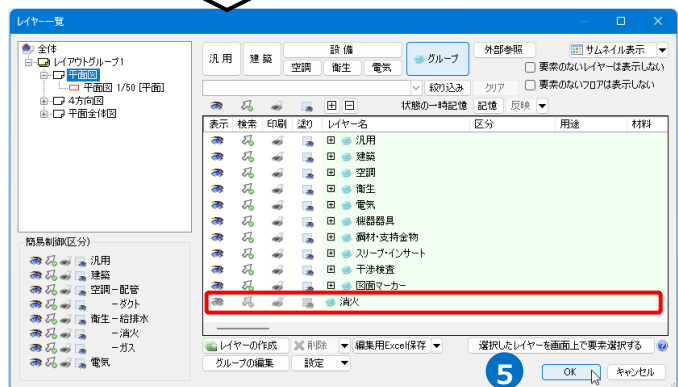
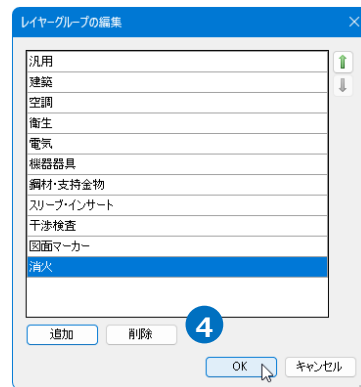
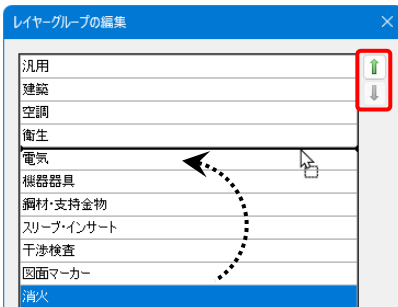


4 [OK]をクリックすると、レイヤー選択エリアにグループ名を追加します。

5 [OK]をクリックし、[レイヤー一覧]を閉じます。

Memo

[レイヤーグループの編集]ダイアログでグループ名を指定して矢印をクリック、またはグループ名のドラッグで表示の順番を変更することができます。



レイヤーの編集

レイヤーの内容を変更するには、[レイヤーの編集]ダイアログで行います。

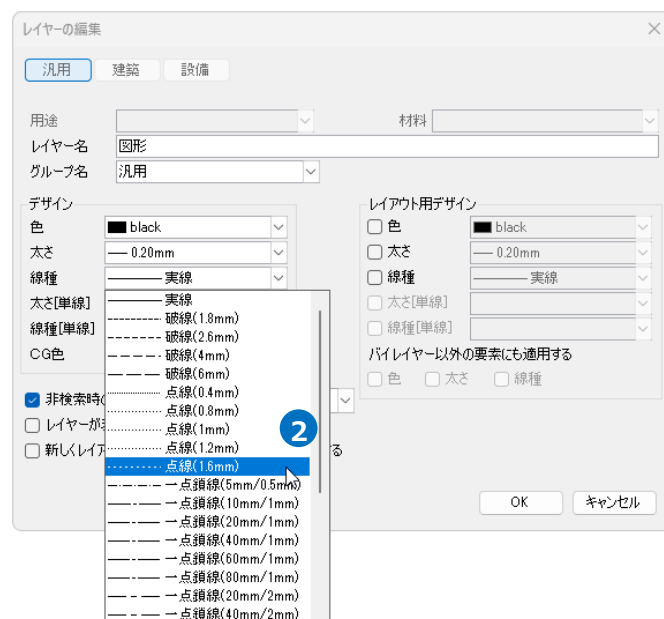
※[編集用Excel保存]でExcel出力し、Excel上で変更した内容を読み込むこともできます。(p.56参照)

1 [レイヤー一覧]で変更するレイヤーを選択し、コンテキストメニューから[設定内容の変更]をクリックします。



② [レイヤーの編集]ダイアログより内容を変更します。

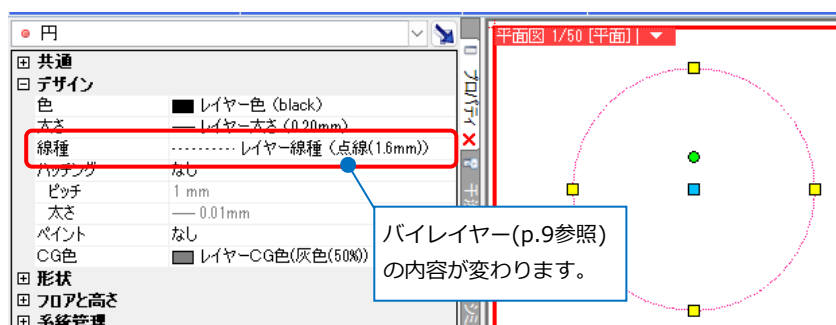
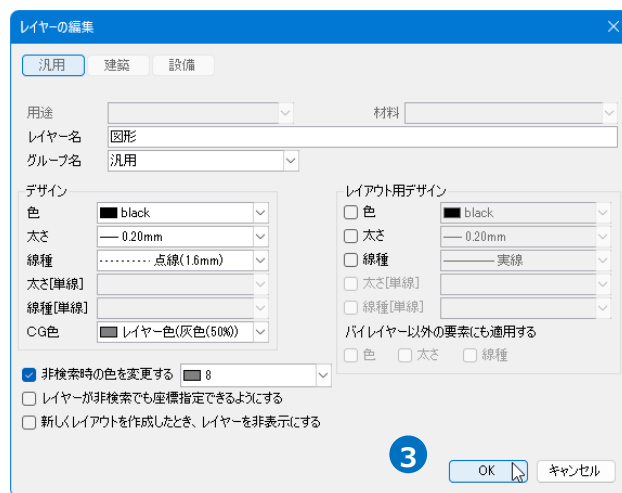
ここでは[デザイン]の「線種」を実線から点線に変更します。



③ [レイヤーの編集]ダイアログと[レイヤー一覧]を[OK]をクリックして閉じます。

→同じレイヤーで「レイヤー線種」とした要素の線種が変わります。

Memo
「材料」を変更した場合は、自動では変わりません。(p.11参照)

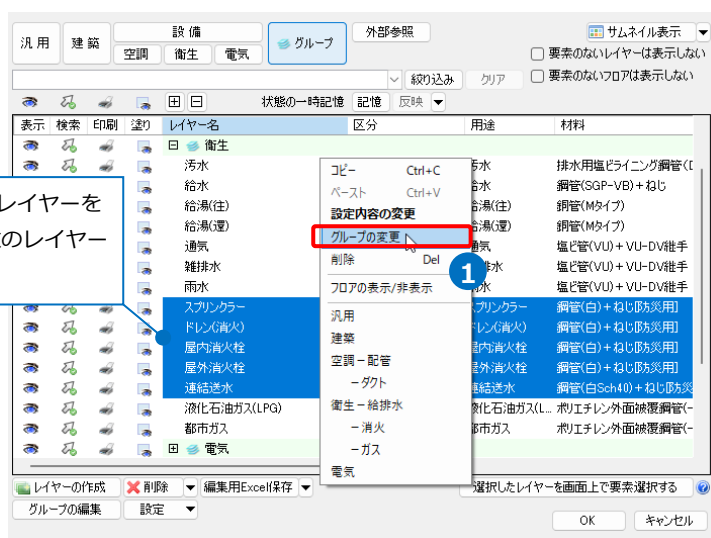


グループの編集

レイヤーが属するレイヤーグループを変更します。

- 1 レイヤー選択エリアでレイヤーを指定し、コンテキストメニューから[グループの変更]をクリックします。

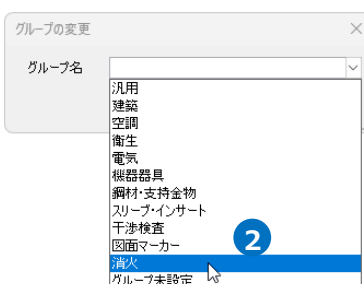
Ctrlキーを押しながらレイヤーをクリックすると、複数のレイヤーが選択できます。



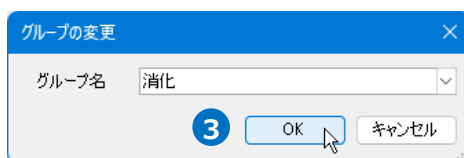
- 2 [グループの変更]ダイアログで、移動先のグループ名を選択します。

Memo

既存にないグループ名を入力すると、新しいグループを追加します。

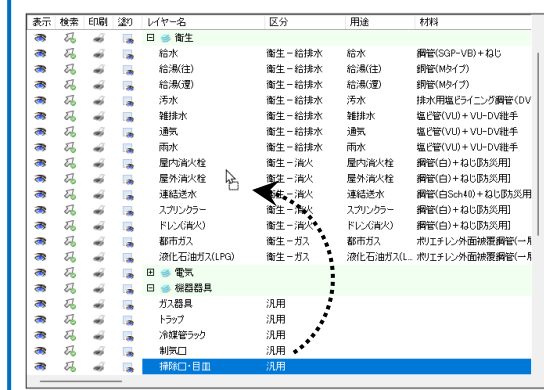


- 3 [グループの変更]ダイアログと[レイヤー一覧]を[OK]をクリックして閉じます。
→選択したレイヤーグループにレイヤーが移動します。



Memo

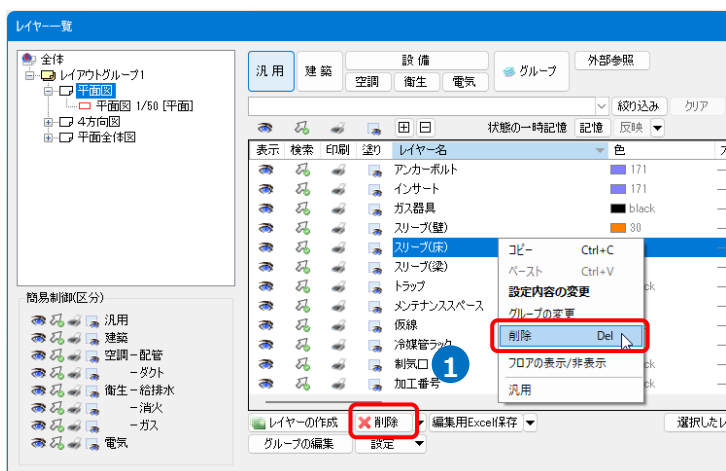
レイヤー選択エリアでレイヤーをドラッグしてグループを変更することもできます。



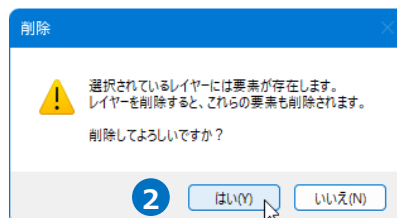
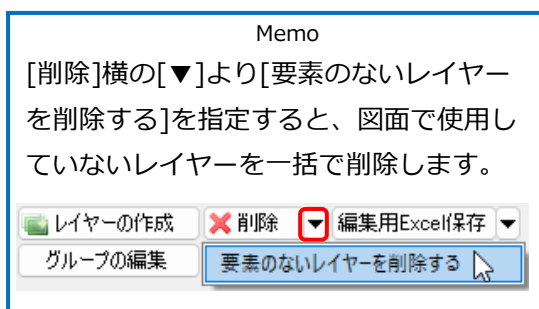
表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	区分	用途	材料
				衛生			
				給水	衛生 - 給排水	給水	鋼管(SGP-VB) + ねじ
				給湯(注)	衛生 - 給排水	給湯(注)	鋼管(Mタイプ)
				給湯(運)	衛生 - 給排水	給湯(運)	鋼管(Mタイプ)
				汚水	衛生 - 給排水	汚水	排水用塩ビライニング鋼管(DV)
				雑排水	衛生 - 給排水	雑排水	塩ビ管(VU) + VU-DV継手
				通気	衛生 - 給排水	通気	塩ビ管(VU) + VU-DV継手
				雨水	衛生 - 給排水	雨水	塩ビ管(VU) + VU-DV継手
				都市ガス	衛生 - ガス	都市ガス	ポリエチレン外面被覆鋼管(一月)
				液化石油ガス(LPG)	衛生 - ガス	液化石油ガス(LPG)	ポリエチレン外面被覆鋼管(一月)
				電気			
				機器器具			
				鋼材・支持金物			
				スリーブ・インサート			
				干渉検査			
				図面マーカー			
				消火			
				屋内消火栓	衛生 - 消火	屋内消火栓	鋼管(白) + ねじ防炎用
				屋外消火栓	衛生 - 消火	屋外消火栓	鋼管(白) + ねじ防炎用
				連結送水	衛生 - 消火	連結送水	鋼管(白Sch40) + ねじ防炎用
				スプリンクラー	衛生 - 消火	スプリンクラー	鋼管(白) + ねじ防炎用
				ドレン(消火)	衛生 - 消火	ドレン(消火)	鋼管(白) + ねじ防炎用

レイヤーの削除

- 1 削除するレイヤーを指定し、[レイヤー一覧]の[削除]をクリック、またはコンテキストメニューから[削除]をクリックします。



- 2 削除するレイヤーに要素がある場合、メッセージを表示します。
[はい]をクリックすると、要素も削除します。



- 3 [OK]をクリックし、[レイヤー一覧]を閉じます。

グループの削除

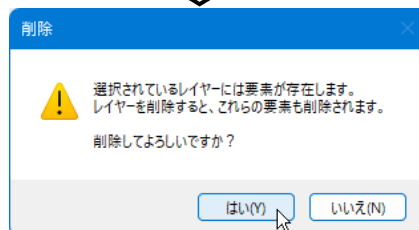
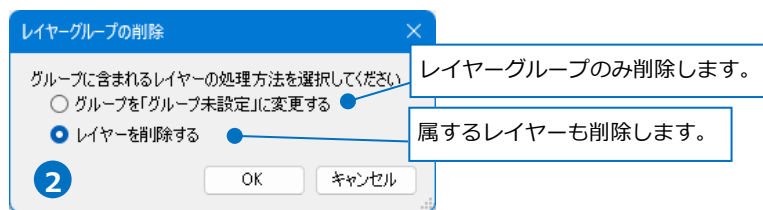
- 1 削除するレイヤーグループを指定し、[レイヤー一覧]の[削除]をクリック、またはコンテキストメニューから[削除]をクリックします。



- 2 [レイヤーグループの削除]ダイアログで、削除するグループに属するレイヤーを「グループ未設定」に移動するか、レイヤーごと削除するかを選択します。

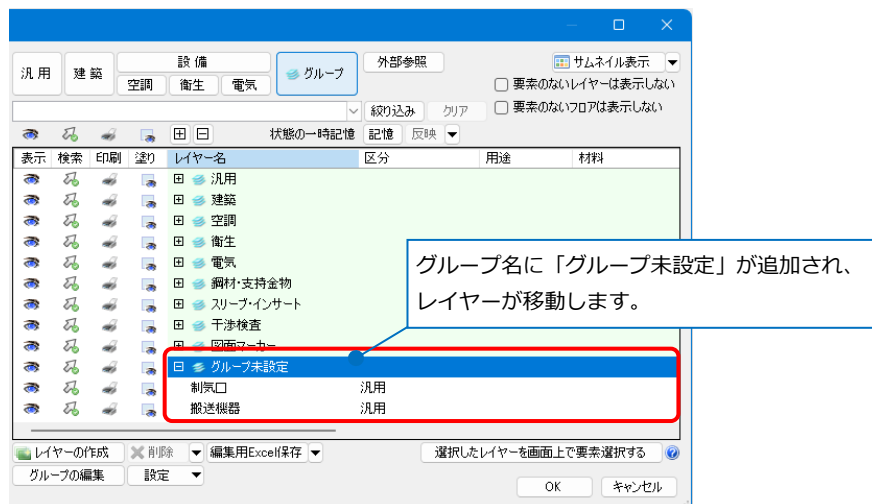
「レイヤーを削除する」を選択した場合は、レイヤーに要素があるとメッセージを表示し、[はい]をクリックすると、削除します。

- 3 [OK]をクリックし、[レイヤー一覧]を閉じます。



● 補足説明

「グループを「グループ未設定」に変更する」を選択した場合、レイヤーグループ名のみ削除します。削除するグループに属していたレイヤーは、新たに作成される「グループ未設定」に移動します。



3.レイヤーの制御

表示の切り替えやレイアウト別にデザインを変更するなど、レイヤーを制御することができます。

レイヤーの表示、検索、印刷、塗りの設定

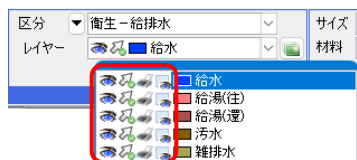
[レイヤー一覧]で、レイヤーごとに表示、検索、印刷、塗りの状態を切り替えることができます。

レイヤー名の左側のアイコンをクリックして状態を切り替えます。

	表示	検索	印刷	塗り
オン				
オフ				



Memo
作図コマンドのリボンでもアイコンをクリックして切り替えることができます。



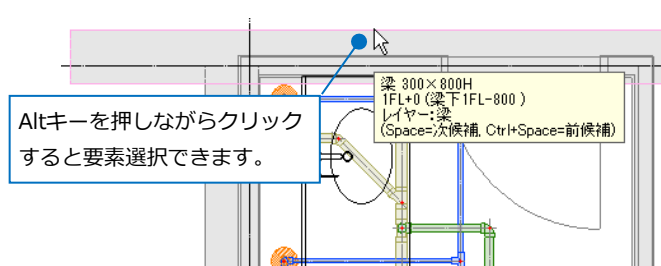
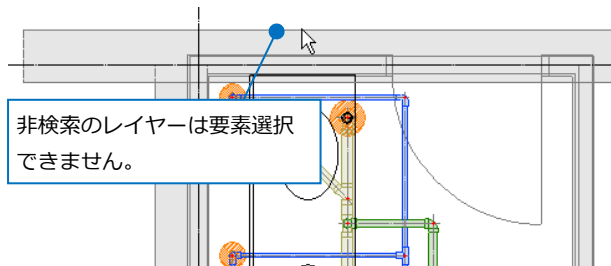
表示

オフに切り替えると、レイヤーの要素を非表示にします。

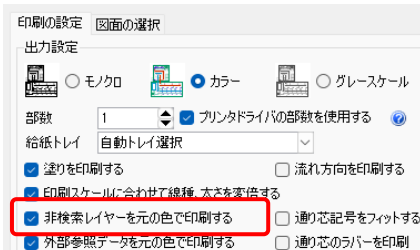
検索

オフに切り替えると、レイヤーごとに設定した非検索時の色(p.14参照)で表示し、図面上で要素選択できなくなります。

Altキーを押しながら要素をクリックすると選択できます。



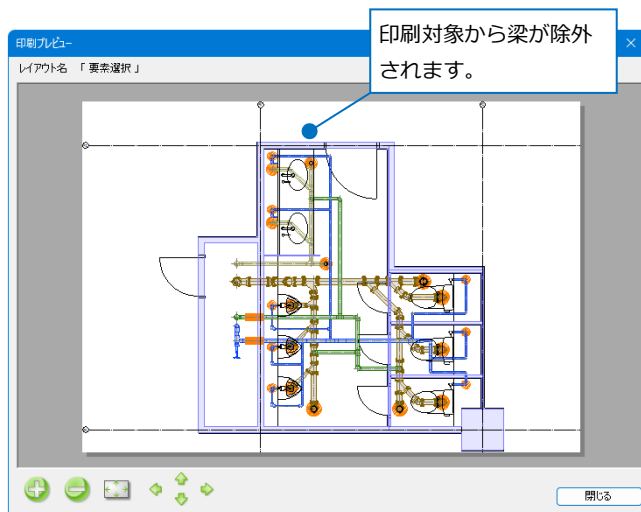
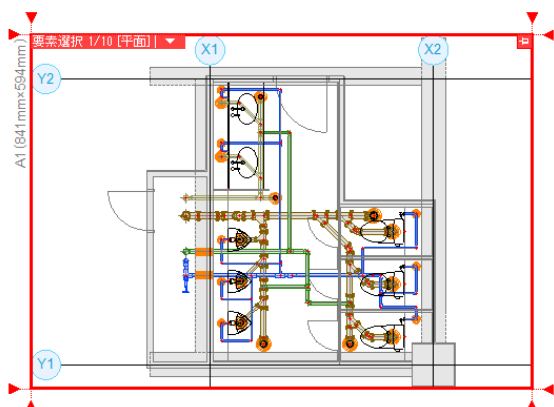
Memo
[ホーム]タブ-[印刷]の[出力設定]で非検索時の色を元の色で出力するか、非検索時の色のまま出力するか選択できます。



印刷

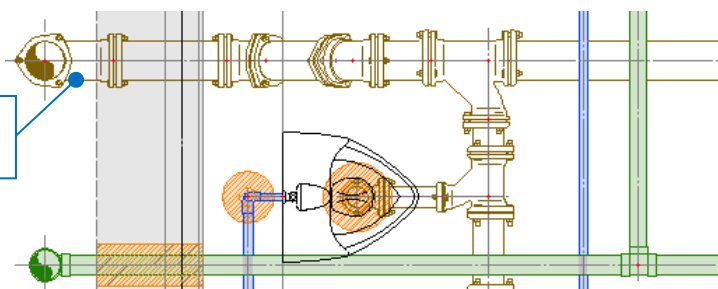
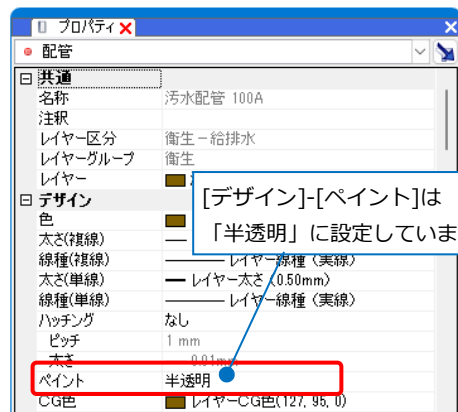
オフに切り替えると、指定したレイヤーの要素を画面上は表示しますが、印刷しません。

「梁」レイヤーをオフ



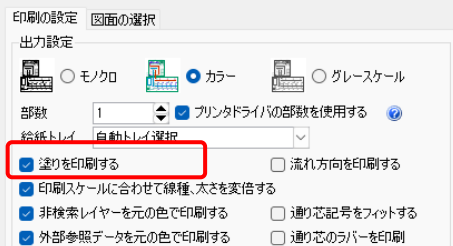
塗り

オフに切り替えると、指定したレイヤーの要素のペイントを非表示にします。



Memo

[ホーム]タブ-[印刷]の[出力設定]で図面上に表示されている塗りを印刷出力するかどうか選択できます。

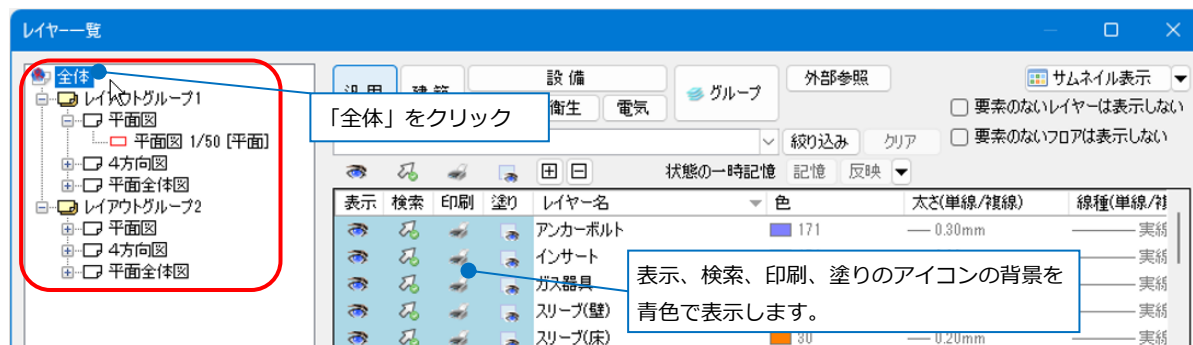


対象範囲

[レイヤー一覧]の表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアで、制御する範囲を選択します。

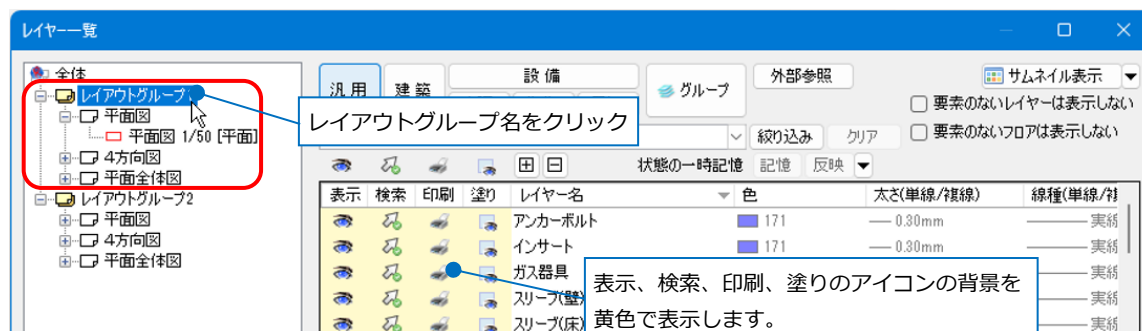
全体

図面全体に対して設定します。全てのレイアウトとビューに反映します。



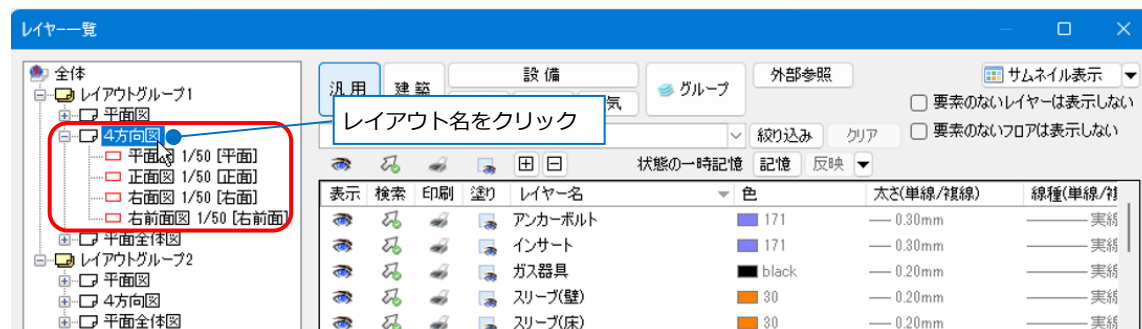
レイアウトグループ(レイアウトグループ名)

レイアウトグループ単位で設定します。レイアウトグループに配置された全てのレイアウトとビューに反映します。



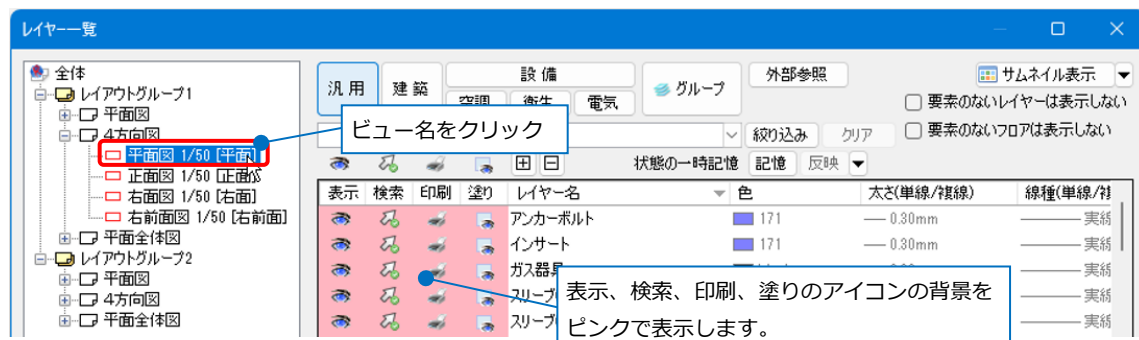
レイアウト(レイアウト名)

レイアウト単位で設定します。レイアウトに配置された全てのビューに反映します。



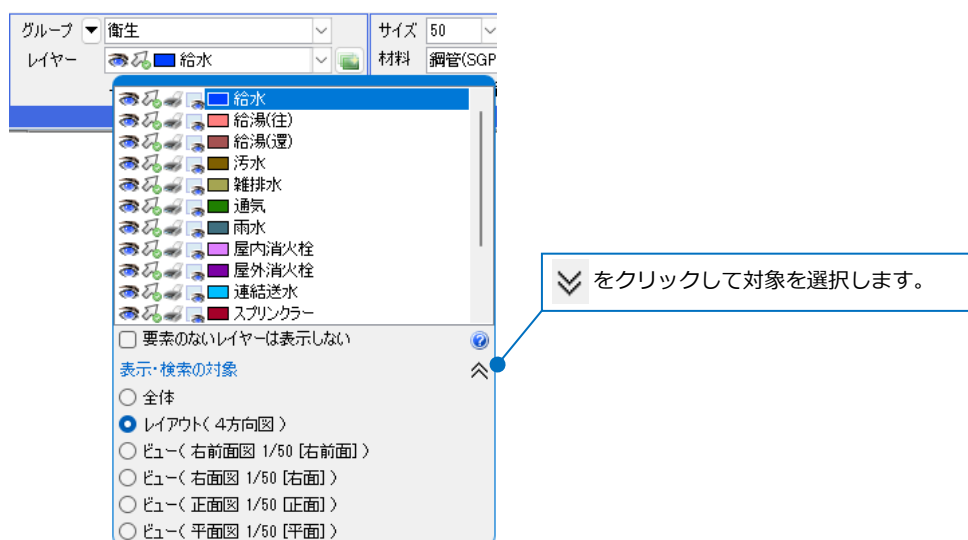
ビュー(ビュー名)

レイアウト内に配置された個々のビューに対して設定します。



● 補足説明

作図コマンドのリボンの[レイヤー]でも、レイヤーのプルダウンメニューで対象を切り替えることができます。

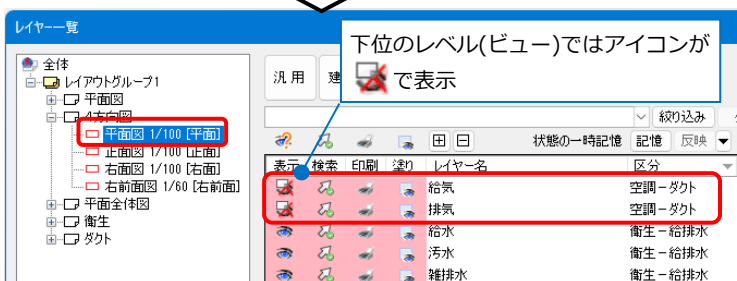
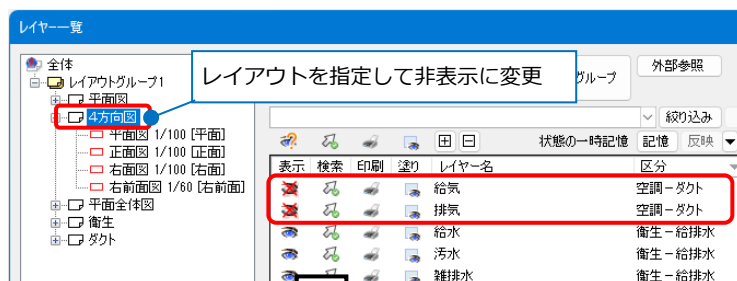
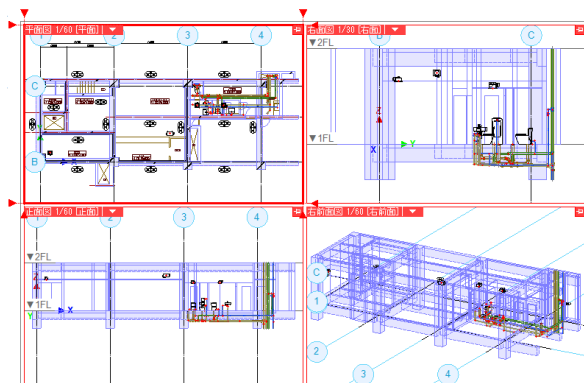


下位レベルからのレイヤー状態切り替え

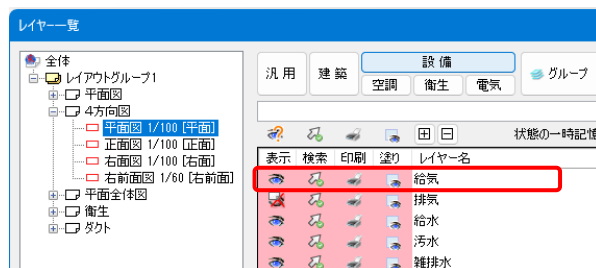
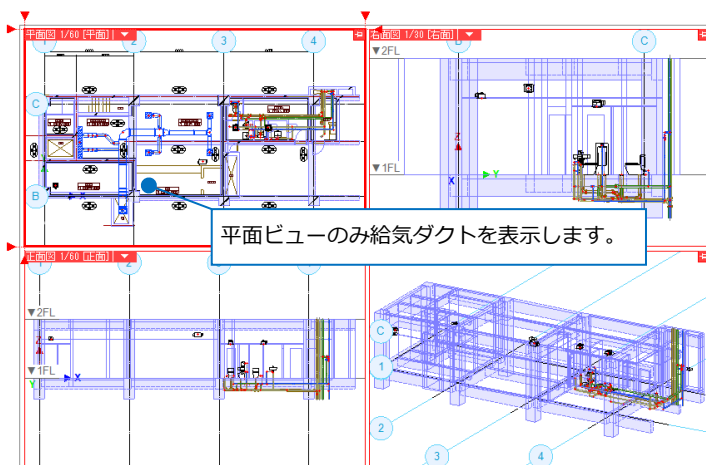
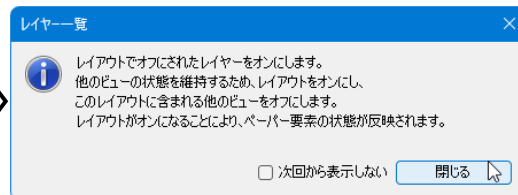
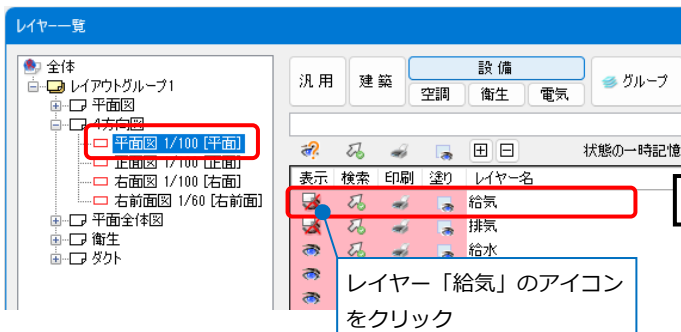


現在選択している設定対象より上位のレベル(全体、レイアウトグループまたは、レイアウト)で表示、検索、印刷、塗りがオフになっていると、アイコンのデザインが変わります。

レイアウト「4 方向図」(ダクト系統を非表示)



アイコンをクリックすると、ダイアログが表示されます。[閉じる]をクリックすると、上位のレベルとそのビューの表示をオンにし、他のビューの表示をオフにします。



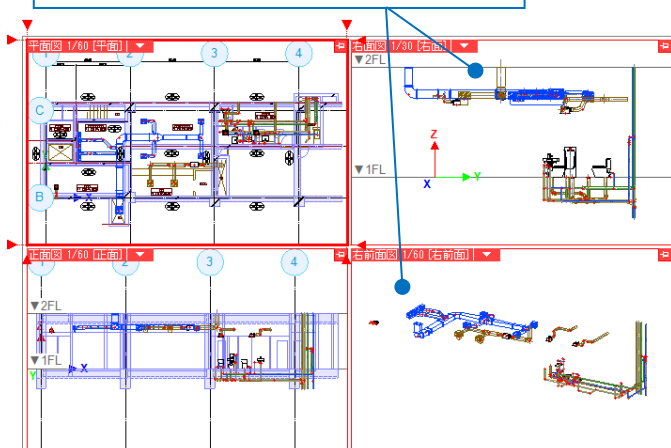
「？」のアイコンの切り替え



下位のレベルまたは、グループ内で表示・検索・印刷・塗りのオン、オフが混在していると、アイコンに「？」が付きます。

アイコンをクリックすると、一括で状態を切り替えることができます。

「右面図」「右前面図」ビューのみ建築を非表示



レイアウトのレベルでは、ビューごとに表示/非表示が混在しているため、建築レイヤーがで表示されます。

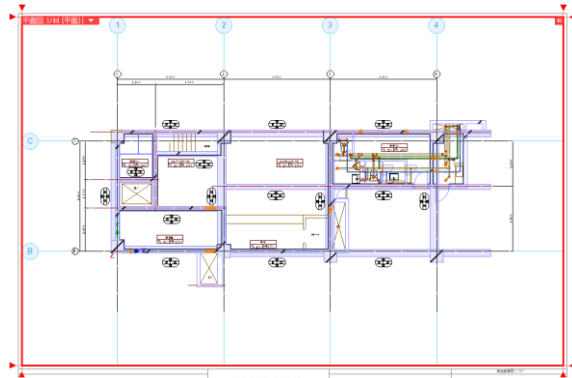


グループ単位で表示、検索、印刷、塗りを設定

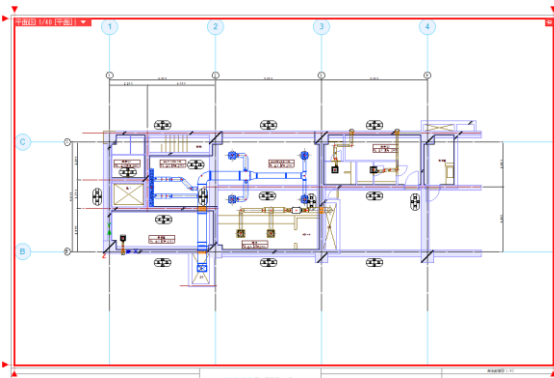
レイヤーグループ単位でレイヤーの制御を行うことができます。

(例)「衛生」「ダクト」レイアウトを追加し、各設備の表示をレイヤーグループ単位で設定する。

レイアウト「衛生」: 衛生系統と衛生機器を表示



レイアウト「ダクト」: ダクト系統と空調設備を表示



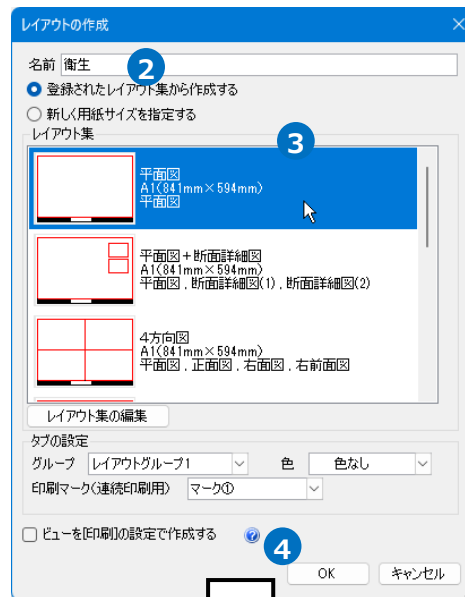
- レイアウト「衛生」「ダクト」を追加します。
レイアウトタブの隣のアイコンをクリックします。



- ② [レイアウトの作成]ダイアログから名前を「衛生」と入力します。

- ③ 追加するレイアウト「平面図」をクリックします。

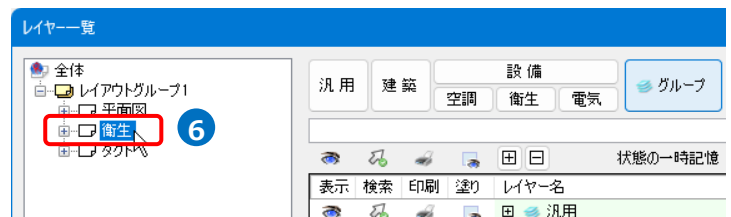
- ④ [OK]をクリックします。
→「衛生」レイアウトが追加されます。



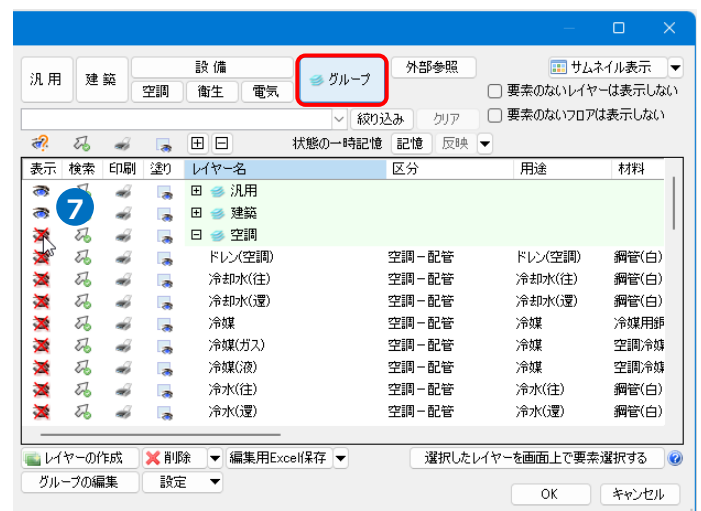
- ⑤ 同様に「ダクト」レイアウトも追加します。



- ⑥ レイアウトごとに表示を切り替えます。
[レイヤー一覧]の表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアで「衛生」レイアウトを選択します。



- ⑦ [グループ]をクリックし、レイヤー選択エリアのレイヤーグループ名「空調」の表示アイコンをクリックし、非表示に切り替えます。



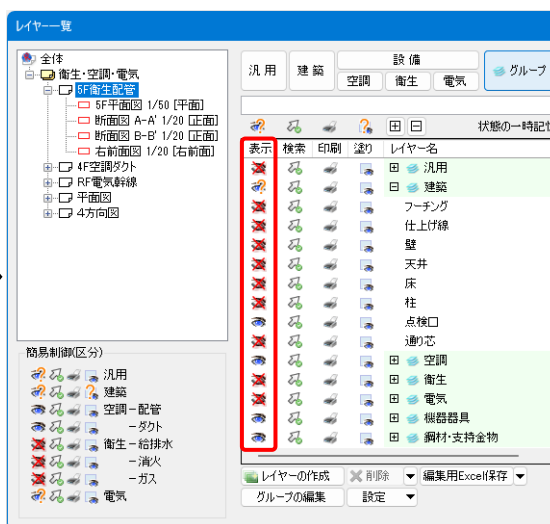
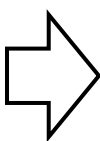
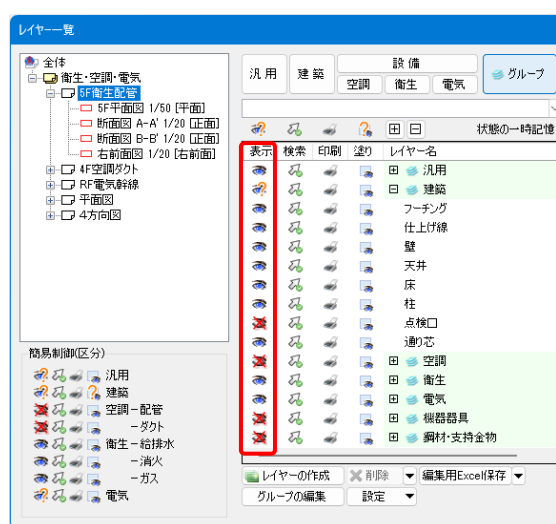
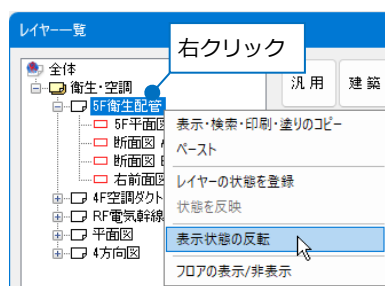
8 同様に表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアで「ダクト」レイアウトを選択し、レイヤー選択エリアのレイヤーグループ名「衛生」の表示アイコンをクリックし、非表示に切り替えます。

9 [OK]をクリックします。
→「衛生」レイアウトから空調設備が、「ダクト」レイアウトから衛生設備が非表示になります。



表示・非表示を反転

[レイヤー一覧]の表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアで表示状態を反転したい範囲を選択し、コンテキストメニューから[表示状態の反転]をクリックすると、レイヤーの表示・非表示を反転します。

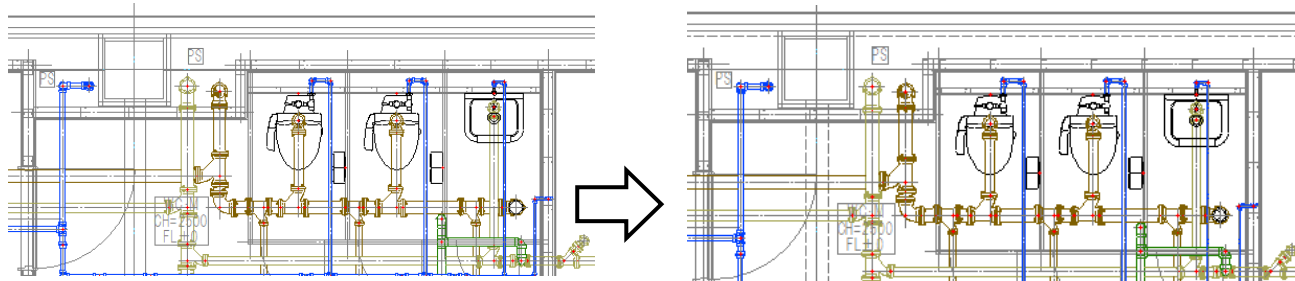


レイアウト、ビュー単位で色、太さ、線種を変更

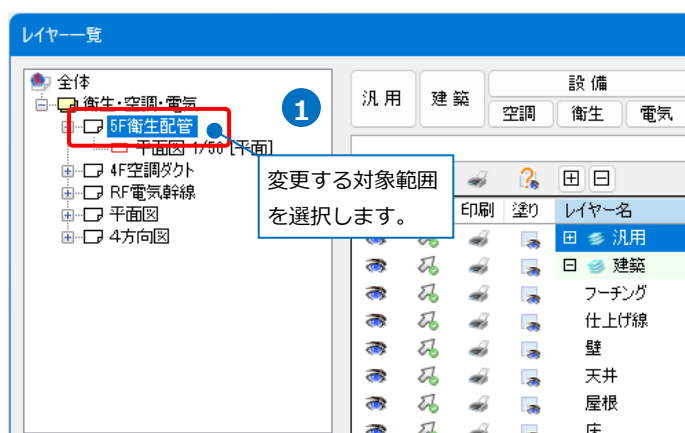
指定したレイアウト、ビューごとに色、太さ、線種を設定することができます。

(例)レイアウト「5F衛生配管」の梁を破線にする。

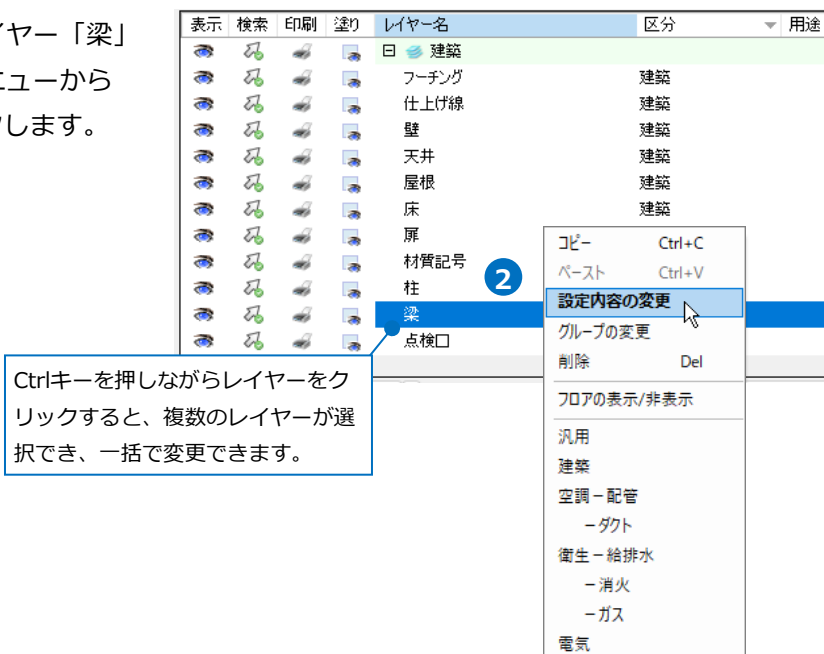
レイアウト「5F 衛生配管」



- 1 [レイヤー一覧]でレイアウト「5F衛生配管」を選択します。



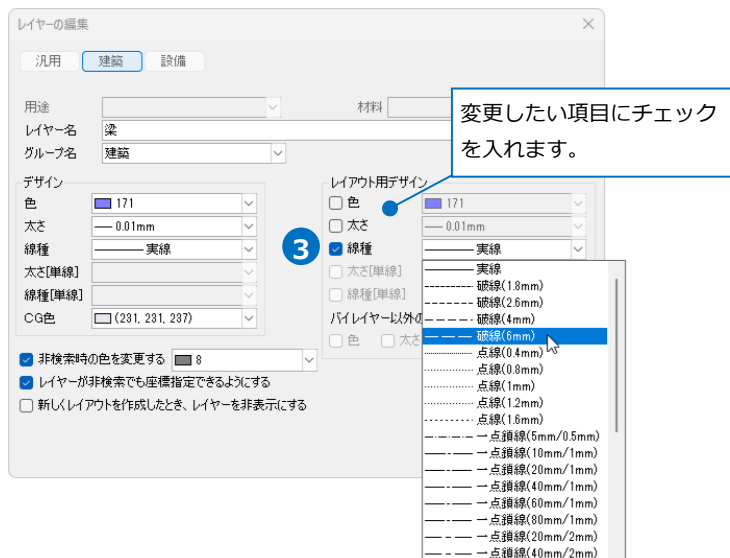
- 2 梁の線種を変更します。レイヤー「梁」を選択し、コンテキストメニューから[設定内容の変更]をクリックします。



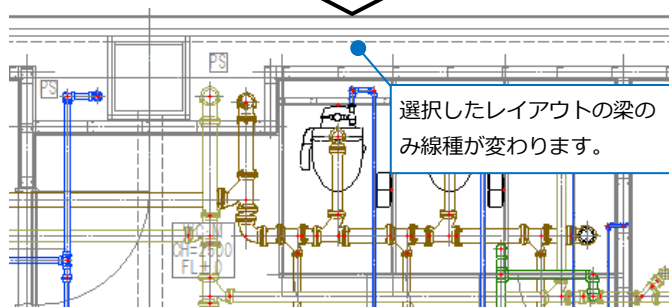
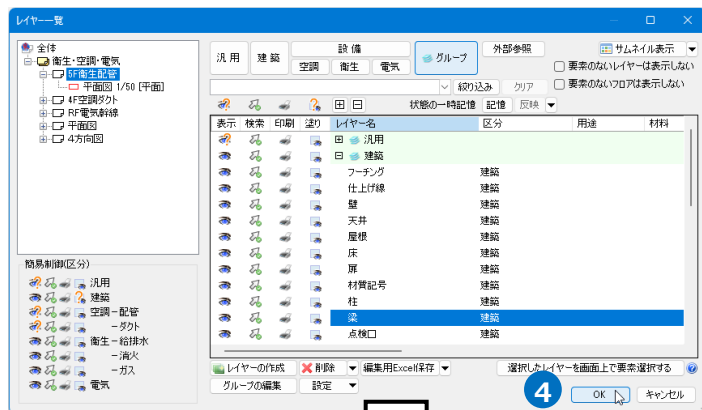
- 3 [レイヤーの編集]ダイアログの[レイアウト用デザイン]で[線種]にチェックを入れ、変更する線種を選択して[OK]をクリックします。

Memo

- 1でビューを指定していると、[ビュー用デザイン]が設定できます。
1つのレイヤーに[ビュー用デザイン]と[レイアウト用デザイン]の両方が設定されている場合、指定したビューでは[ビュー用デザイン]で表示されます。

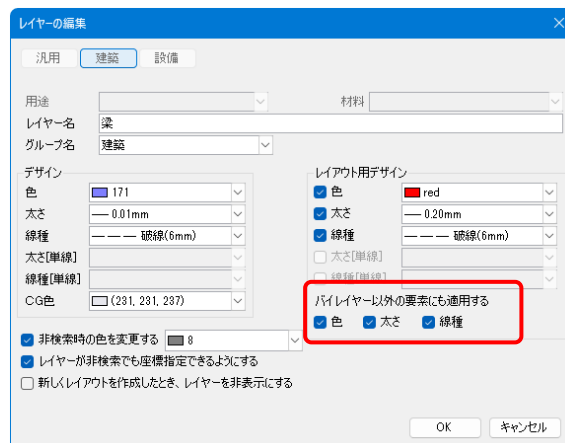


- 4 [OK]をクリックし、[レイヤー一覧]を閉じます。
→レイアウト「5F衛生配管」の梁の線種が変更されます。



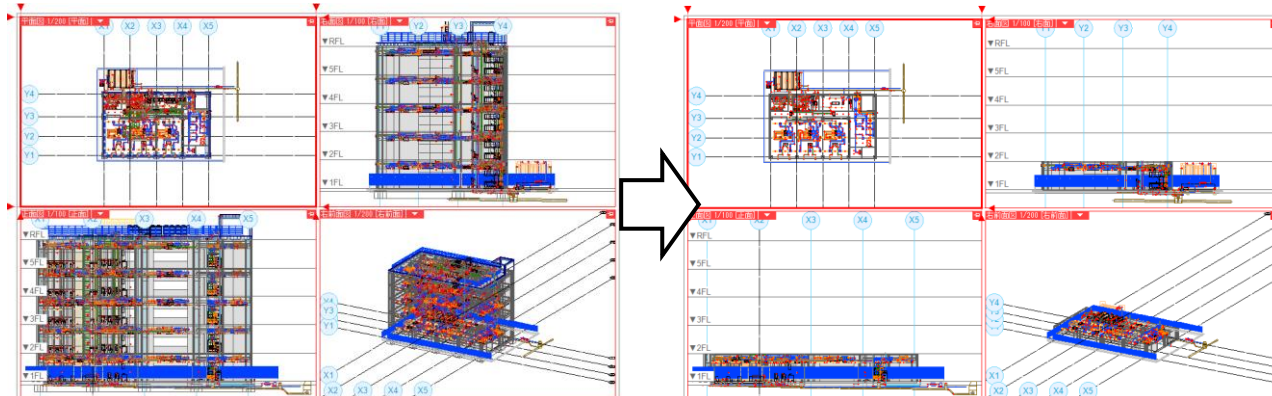
● 補足説明

[レイヤーの編集]ダイアログの[レイアウト用デザイン]で色、太さ、線種を変更するとき、[バイレイヤー以外の要素にも適用する]の項目にチェックを入れると、指定したレイヤーの要素はすべて変更されます。
チェックを外すと指定したレイヤーのバイレイヤーの要素のみ変更されます。

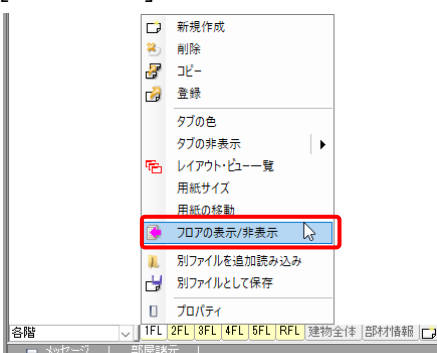


フロアの表示・非表示を設定

フロアの表示、非表示の制御を区分、レイヤーグループ、レイヤー単位で行うことができます。



[レイアウト]タブの上で右クリックし、コンテキストメニュー[フロアの表示/非表示]をクリックします。

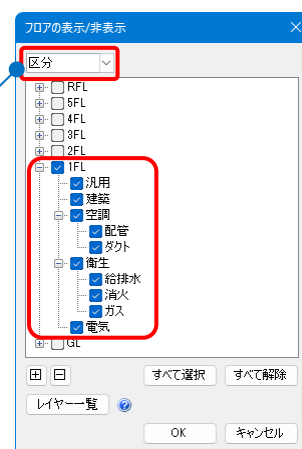
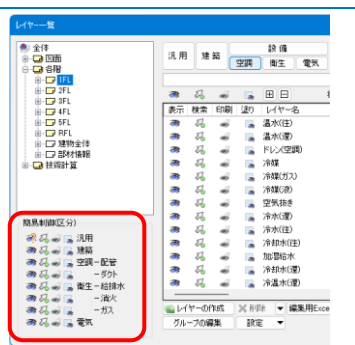


Memo

[フロアの表示/非表示]をビュー単位で設定したい場合は、ビュー名横の[▼]より[フロアの表示/非表示]を選択します。

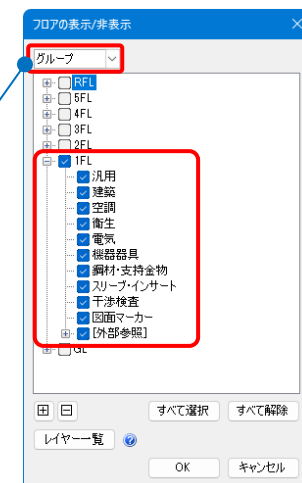
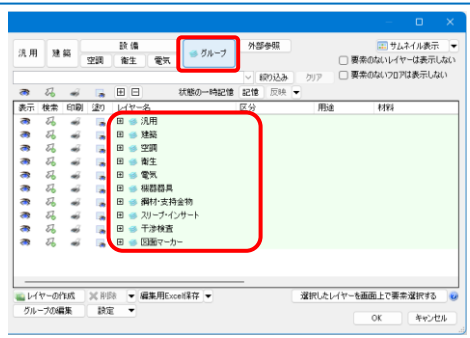
[フロアの表示/非表示]ダイアログで「区分」を選択した場合、レイヤーの区分単位でチェックを入れた階の要素のみ表示します。

「区分」は、[レイヤー一覧]の「簡易制御(区分)」欄で表示されている項目単位で設定ができます。



「グループ」を選択した場合、レイヤーグループ単位でチェックを入れた階の要素のみ表示します。

「グループ」は、[レイヤー一覧]の「グループ」で表示されている項目単位で設定ができます。



● 補足説明

[レイヤー一覧]で、フロアを設定するレイアウトグループ、レイアウト、ビューを選択し、[フロア]で表示するフロア名にチェックを入れると、レイヤー単位でフロア表示を設定することができます。

[要素のないフロアは表示しない]にチェックを入れると、要素の「基準フロア」として使用していないフロア名は非表示になります。

グループ、外部参照グループ、外部参照図面単位でフロアの表示/非表示をまとめて切り替えることができます。

レイアウト名を選択し、コンテキストメニューから[フロアの表示/非表示]を開くと、レイアウトごとにフロアの表示/非表示を行うことができます。

表示・検索・印刷・塗りのコピー
ペースト
レイヤーの状態を登録
状態を反映
表示状態の反転
フロアの表示/非表示

同じ区分やグループの中で表示/非表示が混在する場合は、[フロアの表示/非表示]ダイアログのチェックボックスに ☒ が表示されます。

フロアの表示/非表示

グループ

2FL

☒ 汎用
☒ 建築
☒ 空調
☒ 電気
☒ 機器器具

また、[フロアの表示/非表示]ダイアログの[レイヤー一覧]をクリックすると、現在のフロアの設定の状態です[レイヤー一覧]ダイアログが表示されます。

フロアの表示/非表示

区分

☐ RFL
☐ 5FL
☐ 4FL
☐ 3FL
☒ 2FL
☒ 1FL
☐ GL

田 日

すべて選択 すべて解除

レイヤー一覧

OK キャンセル

汎用 建築 設備 空調 衛生 電気 グループ 外部参照

サムネイル表示

☐ 要素のないレイヤーは表示しない
☐ 要素のないフロアは表示しない

状態の一時記憶 記憶 反映

表示 検索 印刷 塗り レイヤー名 フロア

レイヤー名	フロア
ドレン(空調)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷却水(往)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷却水(還)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷媒	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷媒(ガス)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷媒(液)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷水(往)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷水(還)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷温水(往)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
冷温水(還)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
加温給水	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
温水(往)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL
温水(還)	☒ GL ☒ 1FL ☒ 2FL ☒ 3FL ☒ 4FL ☒ 5FL ☒ RFL

レイヤーの作成 削除 編集用Excel保存

グループの編集 設定

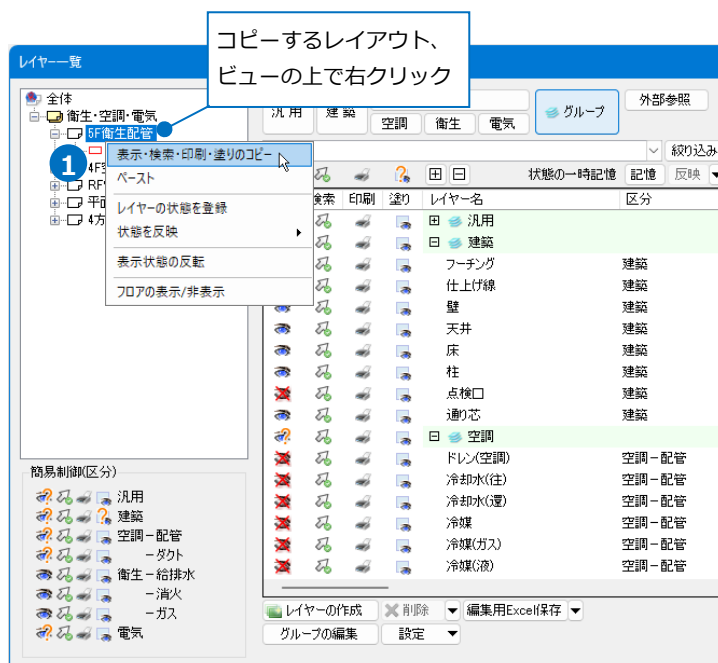
選択したレイヤーを画面上で要素選択する

OK キャンセル

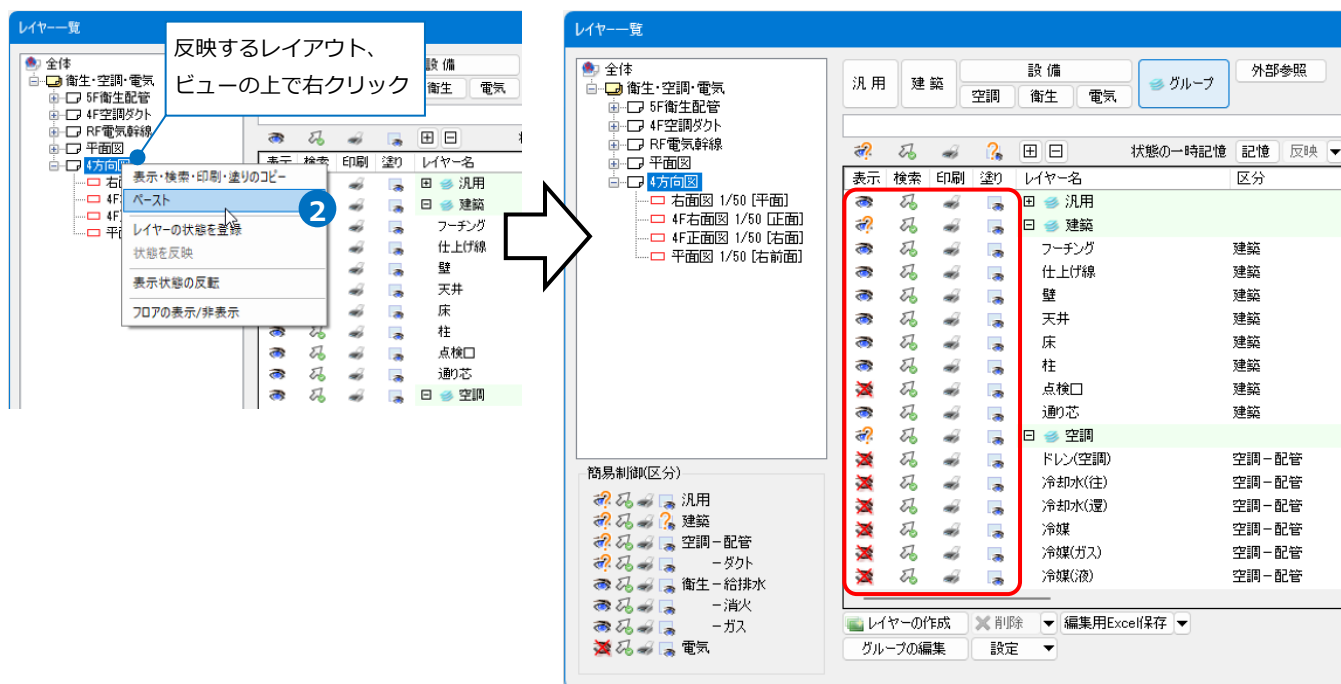
レイヤー状態のコピーとペースト

レイアウトやビューの表示・検索・印刷・塗りの状態を、同じ図面内の別のレイアウトやビューに反映することができます。

- 1 [レイヤー一覧]で、表示などの状態をコピーするレイアウト(またはビュー)のコンテキストメニュー[表示・検索・印刷・塗りのコピー]をクリックします。

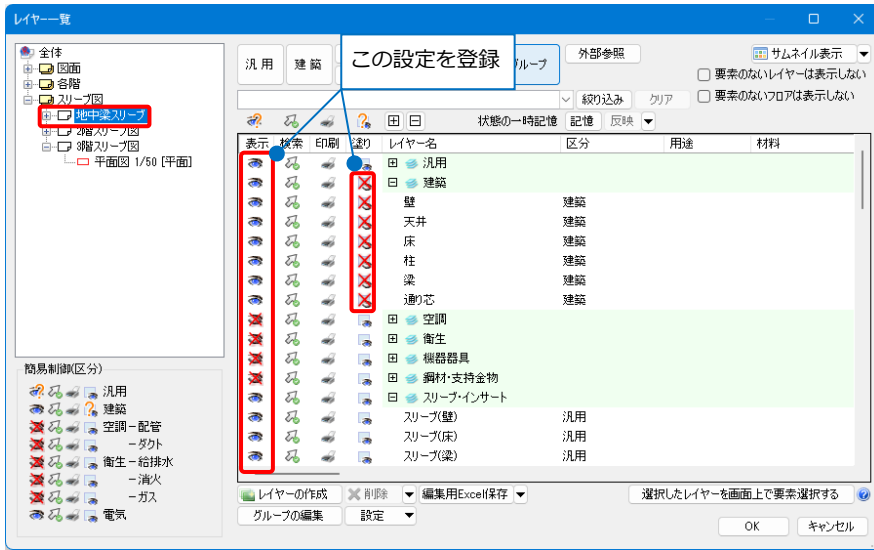


- 2 同じ設定にするレイアウト(またはビュー)のコンテキストメニュー[ペースト]をクリックし、[レイヤー一覧]を[OK]で閉じます。
→選択したレイアウト(またはビュー)の設定状態を反映します。



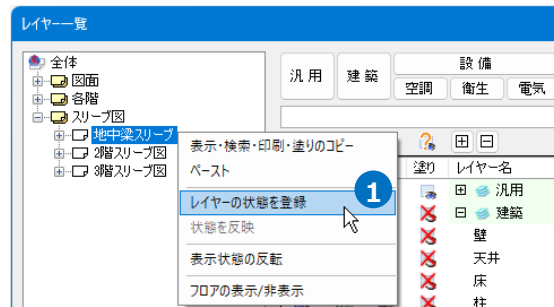
レイヤー状態やデザインの設定パターンの登録

レイアウト、ビューの表示・検索・印刷・塗りの状態や、レイアウト/ビュー用デザインの設定を登録し、他のレイアウトやビューに反映することができます。

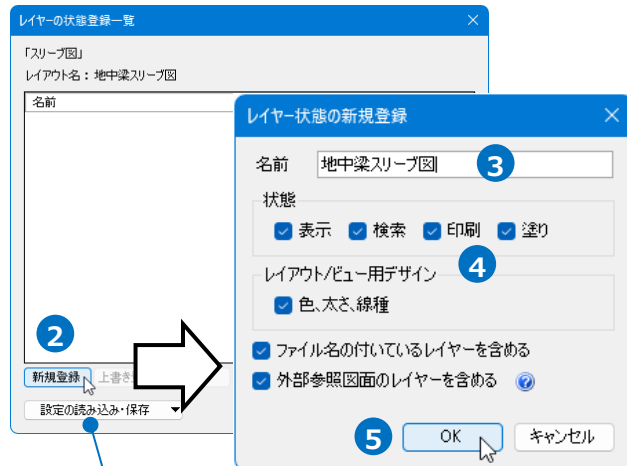


レイヤーの状態を登録

- 1 [レイヤー一覧]の表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアから設定を登録するレイアウトのコンテキストメニュー[レイヤーの状態を登録]をクリックします。



- 2 [レイヤーの状態登録一覧]ダイアログで[新規登録]をクリックします。
→[レイヤー状態の新規登録]ダイアログが表示されます。



- 3 登録する名前を入力します。
- 4 状態を登録する項目にチェックを入れます。
- 5 [OK]をクリックします。
→[レイヤーの状態登録一覧]ダイアログに登録した名前が追加されます。

登録したレイヤー状態を[設定の読み込み・保存]からファイルに保存して別図面に受け渡しもできます。

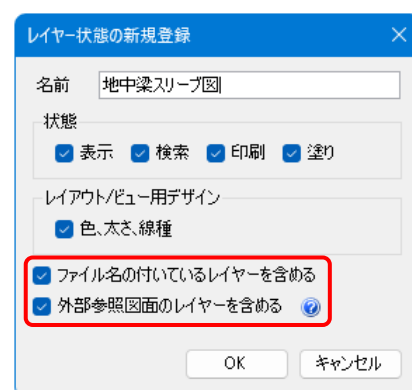
● 補足説明

読み込んだDXF、DWG、JWW、IFC、BE-Bridge、PDF(CADデータ)ファイルのレイヤーには、ファイル名が付加されます。(p.4参照)

[ファイル名の付いているレイヤーを含める]にチェックを入れると、これらのレイヤーも状態の登録を行います。

外すとファイル名が付いているレイヤーの状態は登録しません。

[外部参照図面のレイヤーを含める]にチェックを入れると、外部参照図面のレイヤーも状態の登録を行います。外すと外部参照図面のレイヤーの状態は登録しません。



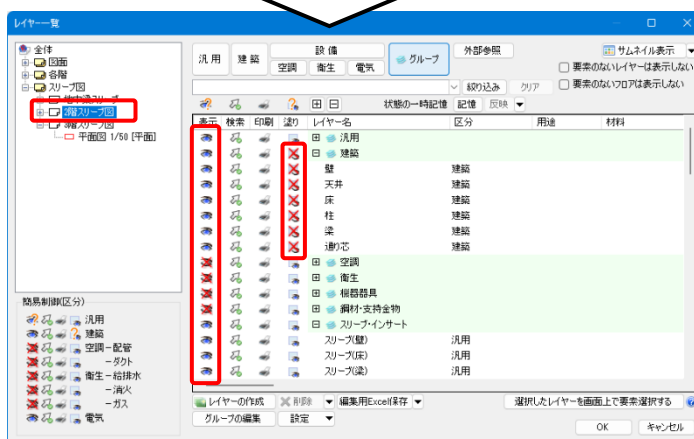
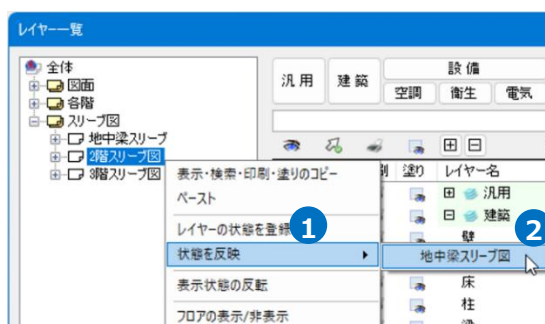
状態を反映

[レイヤーの状態を登録]で登録した状態を反映します。

- 1 表示・検索・印刷・塗り対象選択エリアから状態を反映するレイアウトのコンテキストメニュー[状態を反映]をクリックします。

- 2 [状態を反映]から反映する登録名をクリックし、レイヤー一覧を[OK]で閉じます。

→登録した内容が反映されます。



● 補足説明

?マークのアイコンが付いている状態は、下位のレベルで状態が混在しているため、[表示・検索・印刷・塗りのコピー]や[レイヤーの状態を登録]で状態を保存することはできません。

表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	区分
				壁	建築
				天井	建築
				屋根	建築
				床	建築

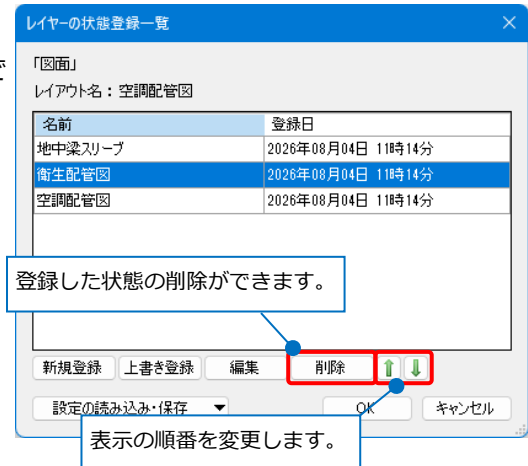
登録した状態の編集

[レイヤーの状態登録一覧]で編集したい状態の名前を選択します。

[上書き登録]：現在選択中のレイアウトやビューのレイヤー状態で登録をし直します。

[編集]：既に登録済みの項目を変更します。

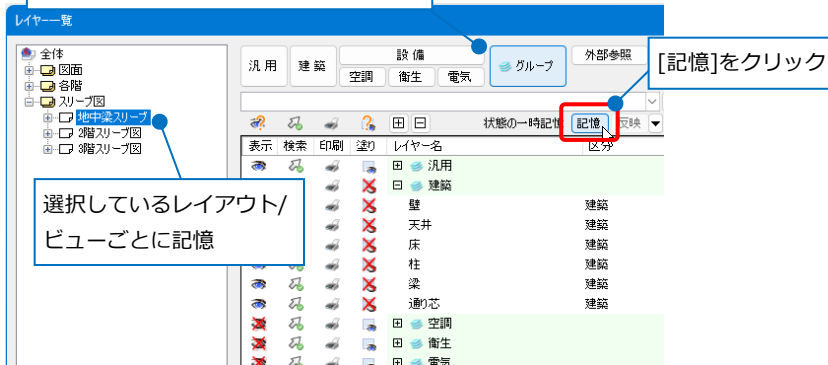
登録時にチェックを外して対象から外した項目を新たに追加することはできません。



状態の一時記憶

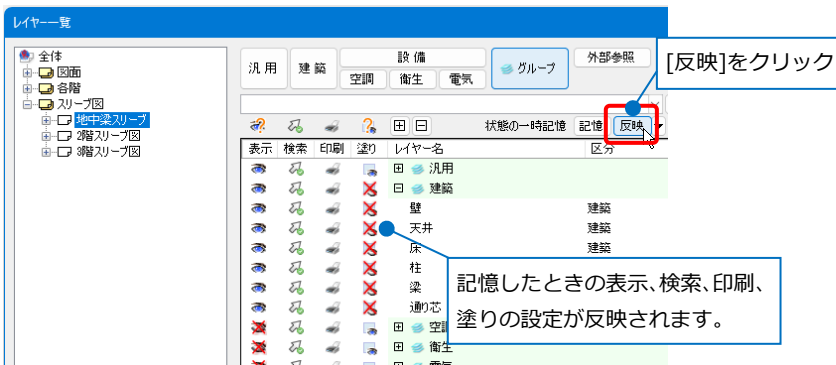
レイヤーの表示、検索、印刷、塗りの設定をレイアウト/ビューごと、また、分類/グループ/外部参照ごとに記憶、反映することができます。記憶したレイアウト/ビューの分類/グループ/外部参照でのみ反映できます。

選択している分類/グループ/外部参照のレイヤー状態を記憶



Memo

[記憶]をクリックした時点の状態を保存するため、同一レイアウト/ビューまたは、同じ分類/グループ/外部参照で複数パターンの記憶はできません。
図面を閉じて記憶した状態は保持されます。



● 補足説明

[反映]横の[▼]-[削除]でレイアウト/ビューごとの分類/グループ/外部参照で記憶した状態を、個々に削除ができます。

[すべて削除]ですべてのレイアウト/ビューの分類/グループ/外部参照で記憶しているレイヤーの状態を、まとめて削除します。

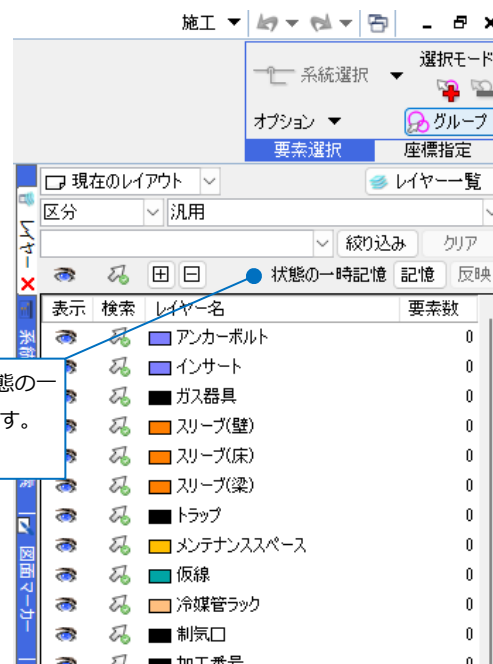


[レイヤー]パネルでの制御

レイヤーの表示、検索の制御は[レイヤー]パネルでも行うことができます。

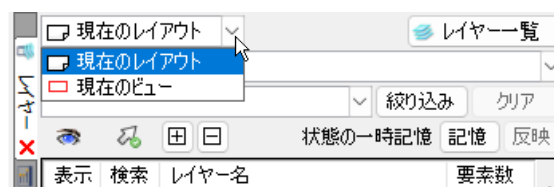
Memo
[表示]タブ-[パネル]-[レイヤー]から
[レイヤー]パネルを開くことができます。

[レイヤー]パネルからも状態の一時記憶を行うことができます。
(前ページ参照)



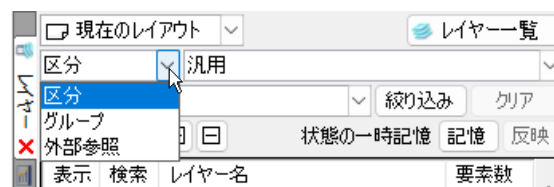
対象範囲の切り替え

対象範囲は、レイアウトまたはビュー単位で選択できます。「現在のレイアウト」は現在表示されているレイアウトが対象となります。「現在のビュー」はカレントビューが対象となります。



レイヤー表示の切り替え

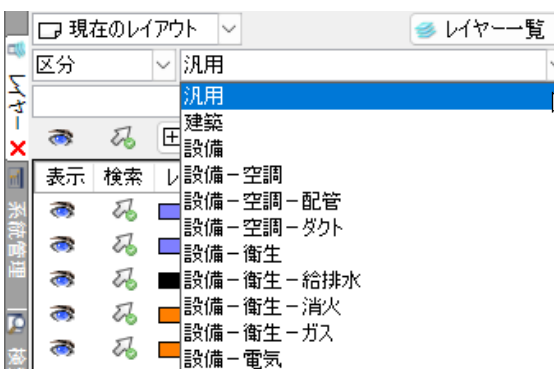
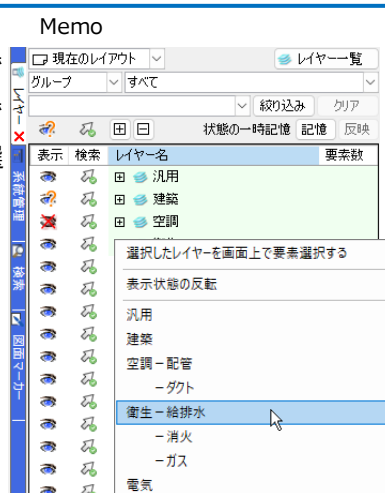
レイヤーの表示を「区分」「グループ」「外部参照」に切り替えることができます。



区分

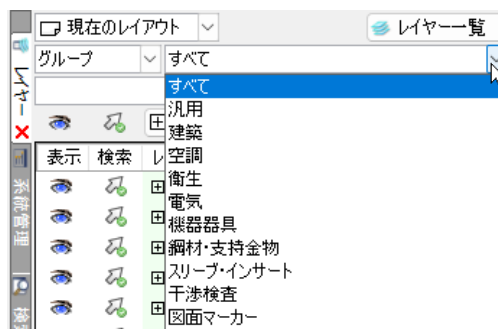
プルダウンメニューから区分名を切り替えて、レイヤー表示を絞り込みます。

コンテキストメニューで
区分名を選択し、一括で
同じ区分のレイヤーを選
択することができます。



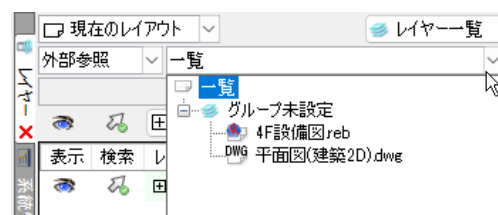
グループ

グループ単位でレイヤー名が表示されます。
プルダウンメニューからグループ名を選択して表示
を絞り込むこともできます。



外部参照

外部参照図面のレイヤーを表示します。
プルダウンメニューから外部参照図面を選択してレ
イヤー表示を切り替えることができます。

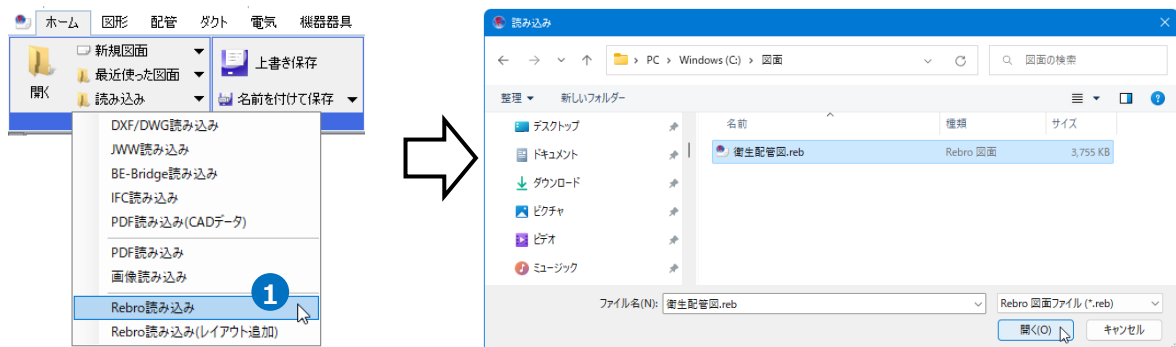


4.図面の読み込み、要素の貼り付け

レブロ図面を読み込みした場合、設定により既存のレイヤーに統合して読み込むか、レイヤーを分けて読み込むかを選択できます。また、図面の要素を複写し、貼り付けする場合は、1つのレイヤー名を指定して貼り付けをするか、または元と同じレイヤー名で貼り付けをするか選択できます。

レブロ図面の読み込み方法

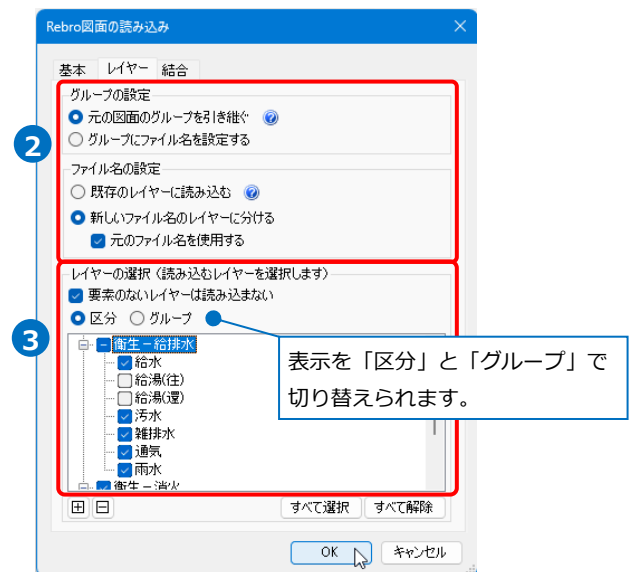
- 1 [ホーム]タブ-[読み込み]-[Rebro読み込み]で読み込むファイルを選択して[開く]をクリックします。



- 2 [Rebro図面の読み込み]ダイアログの[レイヤー]タブの[グループの設定]で読み込むグループを、[ファイル名の設定]でレイヤーに付けるファイル名の扱いを選択します。
(p.40～43参照)

- 3 [レイヤーの選択]で読み込むレイヤーにチェックを入れます。
チェックを外したレイヤーは、要素があっても読み込みません。

- 4 [OK]をクリックします。



グループの設定/ファイル名の設定

		グループの設定	
		元の図面のグループを引き継ぐ	グループにファイル名を設定する
ファイル名の設定	既存のレイヤーに読み込む	① 同じ名前のレイヤーがあれば統合。 ない場合はレイヤーを新規追加。 同じ名前のグループがない場合は新規グループを作成してレイヤーを新規追加。	② 同じ名前のレイヤーがあれば統合。 ない場合は、新規でグループを作成してレイヤーを新規追加。
	新しいファイル名のレイヤーに分ける	③ 同じレイヤーグループ名がある場合、既存のグループ内にレイヤーを新規追加。 ない場合は、グループを作成してレイヤーを新規追加。	④ 新規でグループを作成し、レイヤーを新規追加。

※「新しいファイル名のレイヤー分ける」を選択した際、[元のファイル名を使用する]にチェックを入れると、読み込む図面内で設定されていたファイル名を維持したまま追加します。チェックを外した場合は、読み込む図面のファイル名を付加します。元々ファイル名がない場合もチェックを外した時と同様です。

元図と読み込む図面のレイヤーが同じかどうかは、「レイヤー名」かつ「ファイル名」が同じかどうかで判断します。

(例)「元図.reb」に「読み込み.reb」を読み込む

「元図.reb」

表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA		
				レイヤー1	1	
				グループB		
				レイヤー2	1	

「読み込み.reb」

表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA		
				レイヤー1	1	
				レイヤー2	1	
				グループB		
				レイヤー3	1	
				グループC		
				レイヤー4	1	

1 グループの設定：「元の図面のグループを引き継ぐ」
ファイル名の設定：「既存のレイヤーに読み込む」



表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA	2	
				レイヤー1	2	
				グループB	2	
				レイヤー2	1	
				レイヤー3	1	
				グループC	1	
				レイヤー4	1	

読み込んだ図面のレイヤーと同じレイヤー名があれば、元図と同じレイヤーに統合します。

同じレイヤー名がない場合、読み込み図面と同じグループにレイヤーを追加します。

「読み込み.reb」のレイヤーは、「元図.reb」に同じ名前のレイヤーがあれば、そのレイヤーに要素を追加します。同じ名前のレイヤーがない場合は、同じレイヤーグループにレイヤーを新規追加します。レイヤーグループがなければ、グループも新規追加します。

複数の図面を読み込み、同じレイヤー名を1つにまとめたい場合は、この設定をお勧めします。

2 グループの設定：「グループにファイル名を設定する」
ファイル名の設定：「既存のレイヤーに読み込む」を選択



表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA	2	
				レイヤー1	2	
				グループB	2	
				レイヤー2	1	
				読み込み.reb	1	
				レイヤー3	1	
				レイヤー4	1	

読み込んだ図面のレイヤーと同じレイヤー名があれば、元図と同じレイヤーに統合します。

同じ名前のレイヤーがない場合、読み込むファイルの名前でレイヤーグループを作成し、レイヤーを新規追加します。

「読み込み.reb」のレイヤーは、「元図.reb」に同じ名前のレイヤーがあれば、そのレイヤーに要素を追加します。同じ名前のレイヤーがない場合は、読み込む図面のファイル名(読み込み.reb)のレイヤーグループを作成し、そのレイヤーグループにまとめて新規追加します。

3 グループの設定：「元の図面のグループを引き継ぐ」 ファイル名の設定：「新しいファイル名のレイヤーに分ける」



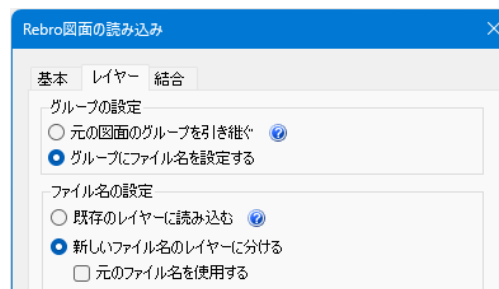
表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA		
				レイヤー1	1	
				レイヤー1	1	読み込みreb
				レイヤー2	1	読み込みreb
				グループB		
				レイヤー2	1	
				レイヤー3	1	読み込みreb
				グループC		
				レイヤー4	1	読み込みreb

読み込んだ図面のレイヤーグループと同じグループ名があれば、同じレイヤーグループにファイル名を付けて新規追加します。

読み込んだ図面のレイヤーグループがない場合は、新規でレイヤーグループを作成し、ファイル名を付けてレイヤーを追加します。

「読み込み.reb」のレイヤーは、「元図.reb」に同じ名前のレイヤーグループがあればそのレイヤーグループにファイル名を付けてレイヤーを追加します。読み込んだ図面のレイヤーはファイル名の情報が付くため、同じレイヤー名でも別のレイヤーとして管理します。同じ名前のレイヤーグループがない場合は新たにレイヤーグループを追加します。

4 グループの設定：「グループにファイル名を設定する」 ファイル名の設定：「新しいファイル名のレイヤーに分ける」



表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				グループA		
				レイヤー1	1	
				グループB		
				レイヤー2	1	
				読み込みreb		
				レイヤー1	1	読み込みreb
				レイヤー2	1	読み込みreb
				レイヤー3	1	読み込みreb
				レイヤー4	1	読み込みreb

読み込む図面のファイル名でレイヤーグループを作成し、ファイル名を付けてレイヤーを新規追加します。

「読み込み.reb」のレイヤーは、読み込む図面のファイル名(読み込み.reb)のレイヤーグループを作成し、レイヤーにファイル名をつけて追加します。

読み込んだ図面単位で、一括で表示、非表示や、図面の差し替えをする時は、この設定をお勧めします。

● 補足説明

例の③、④のようにファイル名の設定で「新しいファイル名のレイヤーに分ける」を選択した場合は、元図に同じレイヤー名、かつファイル名のレイヤーがあった場合は、ファイル名に連番を付けて元図とレイヤーを分けます。

表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	要素数	ファイル名
				読み込み reb		
				レイヤー1	1	読み込み reb
				レイヤー2	1	読み込み reb
				レイヤー3	1	読み込み reb
				レイヤー4	1	読み込み reb
				読み込み(2) reb		
				レイヤー1	1	読み込み(2) reb
				レイヤー2	1	読み込み(2) reb
				レイヤー3	1	読み込み(2) reb
				レイヤー4	1	読み込み(2) reb

ファイル名の末尾に番号を付けてレイヤーを分けます。

ファイル名のついたレイヤーは、ファイル名を削除することで元の図面に同じ名前のレイヤーがある場合、統合することができます。

該当の分類を選択

「レイヤー名」欄に表示されるファイル名を右クリック

[Delete]キーでファイル名を削除

元の図面の同じレイヤーに統合されます。

ファイル名のないレイヤーに変更されます。

ファイル名の変更

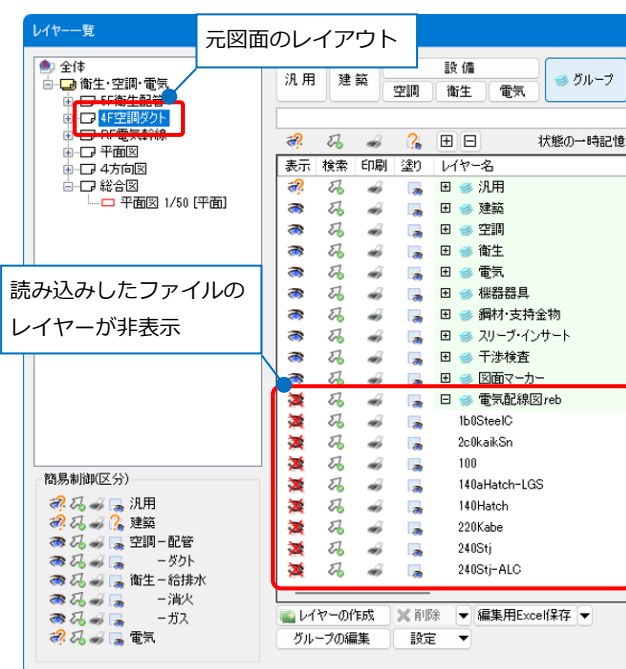
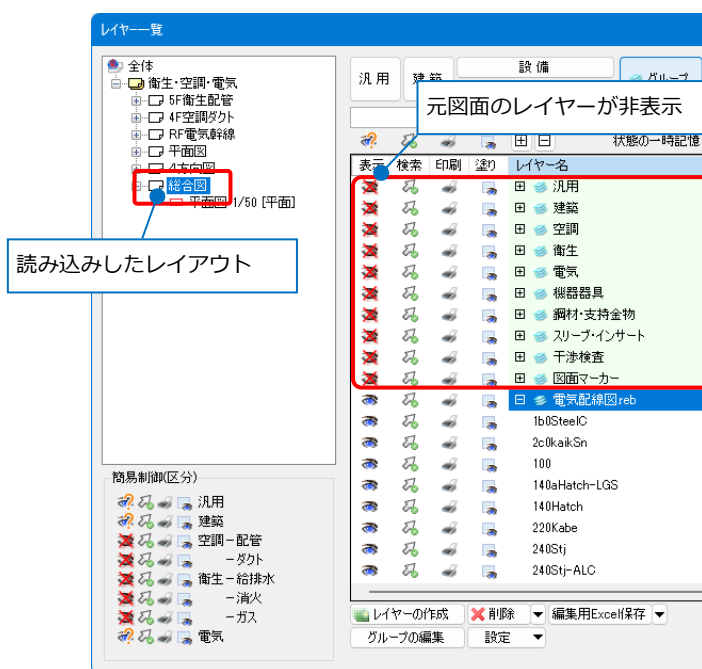
[はい]をクリック

→「衛生・空調設備図.reb」のレイアウトに「電気配線図.reb」のレイアウト「総合図」が追加されます。



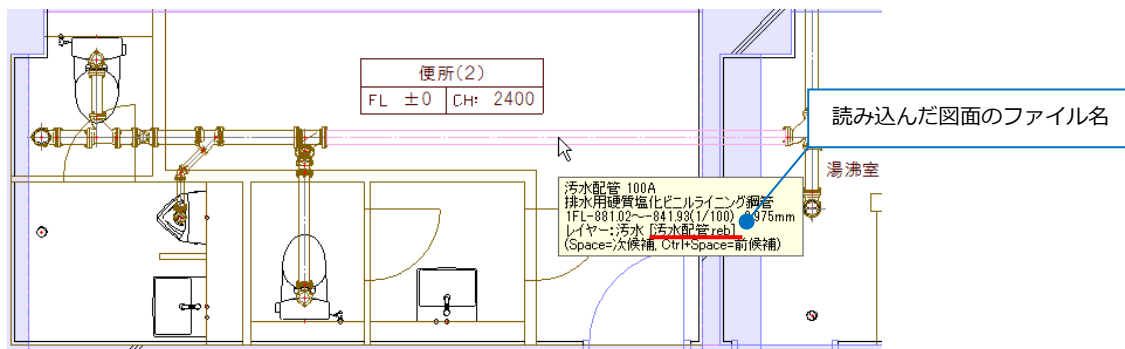
● 補足説明

[Rebro読み込み(レイアウト追加)]で追加したレイアウトでは、読み込みしたファイルのレイヤー以外は非表示になります。また、元のファイルのレイアウトでは、読み込みしたファイルのレイヤーが非表示になります。



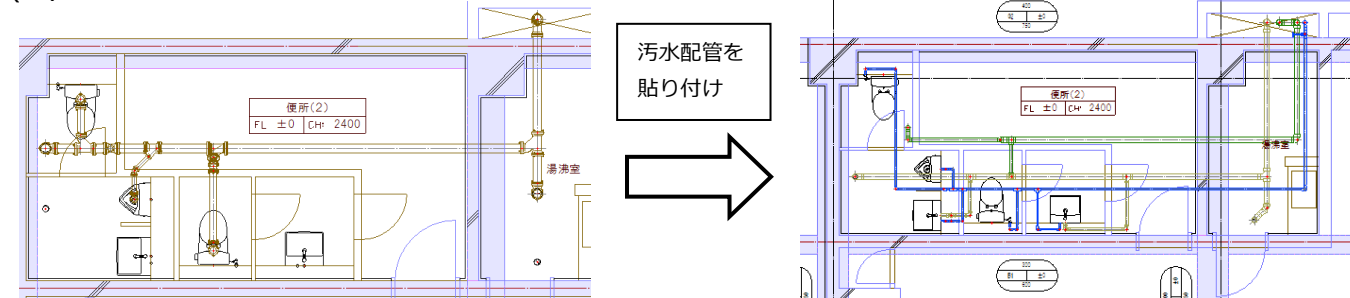
要素の貼り付け

他形式ファイル、または[Rebro読み込み]で新しいファイル名のレイヤーに分けて読み込んだ要素のレイヤーにはファイル名が付きます。

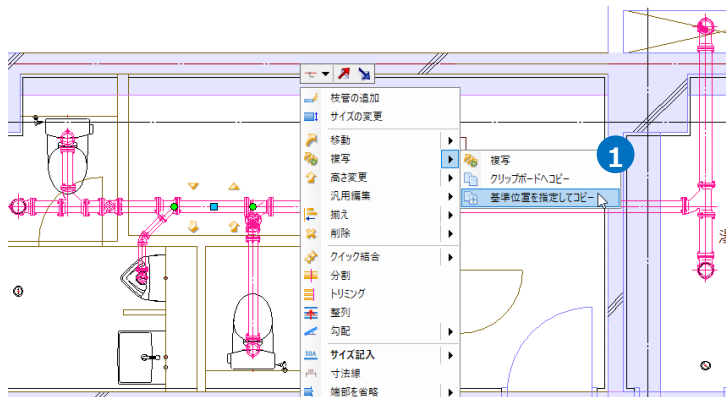


レイヤーにファイル名が付いている要素を[クリップボードへコピー]または[基準位置を指定してコピー]で選択し、[貼り付け]で別の図面に貼り付ける時、貼り付け先の図面のレイヤーにファイル名を付けるか、または付けないかの選択ができます。

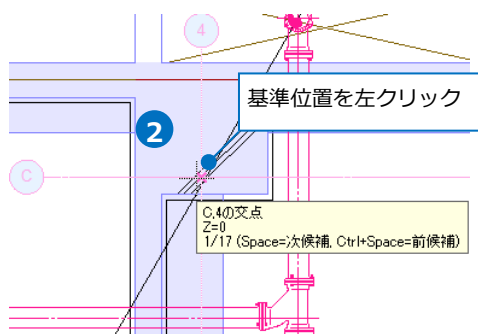
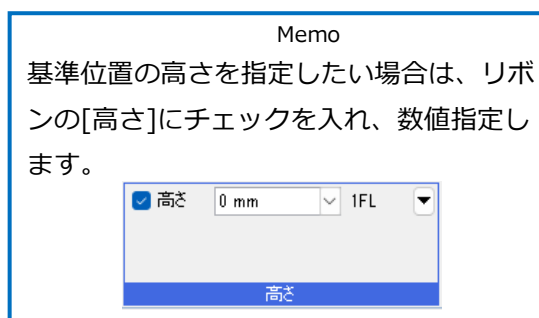
(例)衛生設備図に、別の図面から汚水配管を貼り付ける。



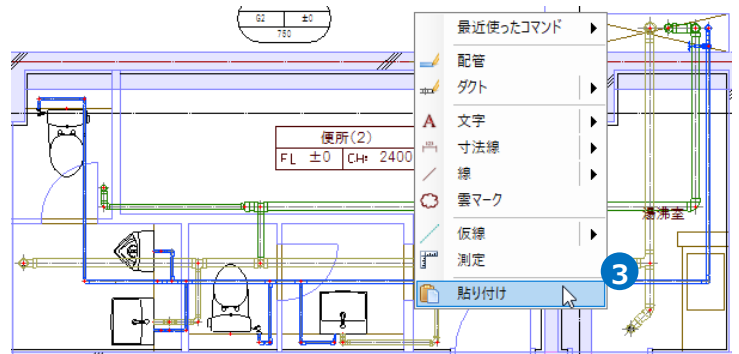
- 1 貼り付ける要素を指定し、コンテキストメニューから[基準位置を指定してコピー]をクリックします。



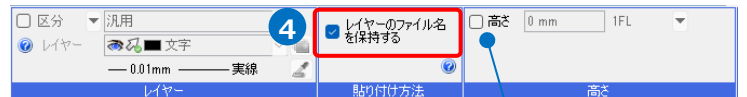
- 2 基準位置を指定します。



- 3 貼り付け先の図面で、コンテキストメニューの[貼り付け]をクリックします。



- 4 [レイヤーのファイル名を保持する]で、読み込む要素のレイヤーにファイル名を保持する、しないを選択します。

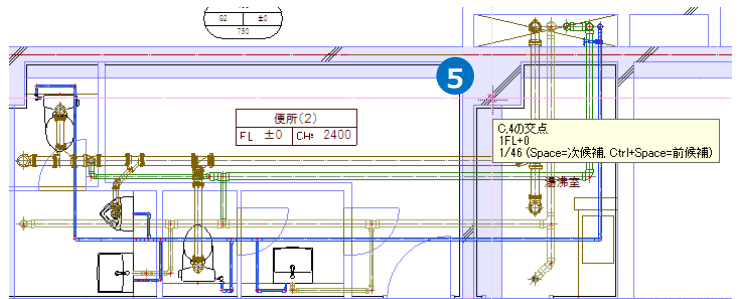


[高さ]にチェックを入れると、貼り付け時の高さを指定することができます。

Memo
[区分](または[グループ])のチェックを入れると、貼り付け時のレイヤーを指定することができます。1つのレイヤーにまとめて貼り付けます。
チェックを外すと、コピー元と同じレイヤーで貼り付けします。



- 5 要素を貼り付ける位置を指定します。
→汚水配管が貼り付けられます。



● 補足説明

[レイヤーのファイル名を保持する]にチェックを入れると、ファイル名付きのレイヤーをそのままファイル名を保持して貼り付けます。貼り付け先の図面に同名のレイヤーがある場合、別のレイヤーとして扱うことができます。

チェックを外すと、ファイル名を削除して貼り付けします。貼り付け先の図面に同名のレイヤーがある場合、同じレイヤーで貼り付けします。

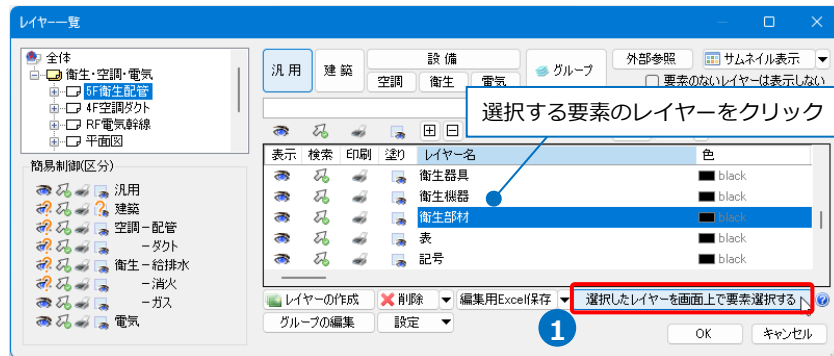
コピーした要素のレイヤーにファイル名が付いていない場合は、チェックを外した場合と同様です。ファイル名を新たに付加することはできません。

5.レイヤー単位で要素選択

指定したレイヤー単位で要素を選択します。

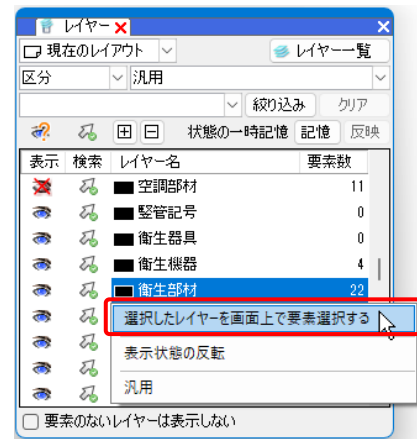
レイヤー一覧

- 1 [レイヤー一覧]より選択する要素のレイヤーを指定し、[選択したレイヤーを画面上で要素選択する]をクリックします。

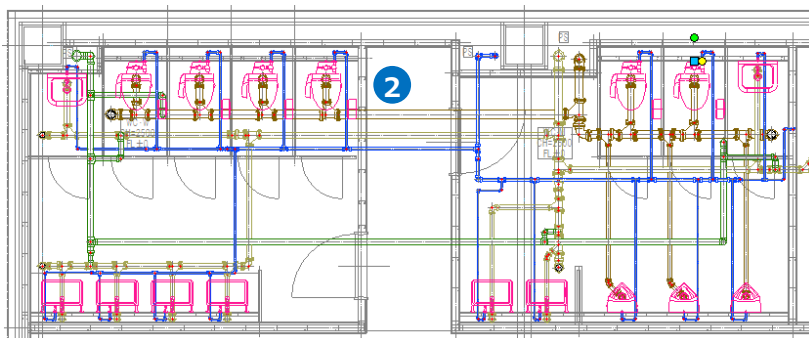


Memo

[レイヤー]パネルから操作する場合、レイヤーを指定し、コンテキストメニューより[選択したレイヤーを画面上で要素選択する]をクリックします。

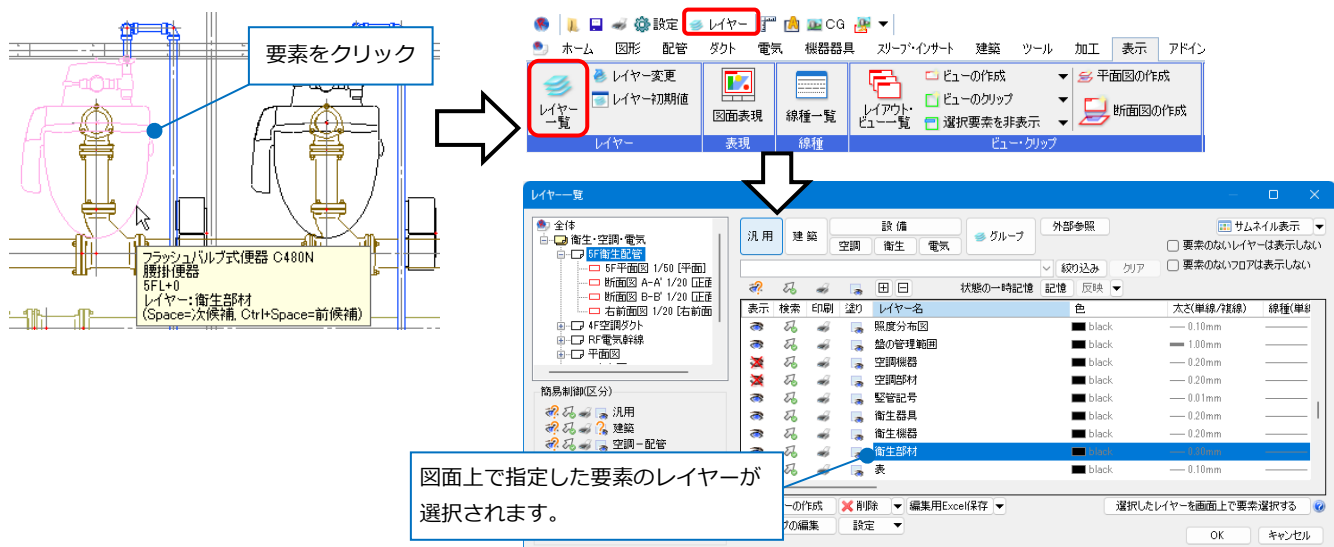


- 2 指定したレイヤーの要素がすべてのレイアウトで選択されます。



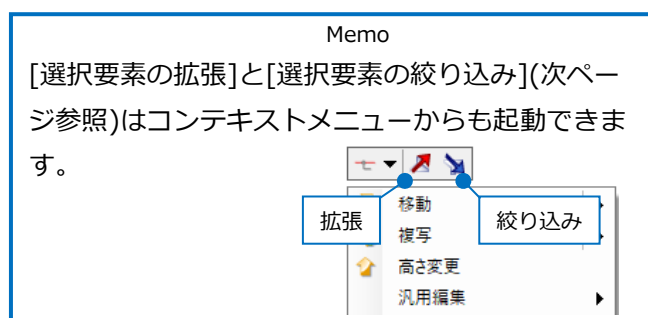
● 補足説明

図面上で要素選択して[レイヤー一覧]を起動すると、選択した要素のレイヤーがダイアログで選択されます。

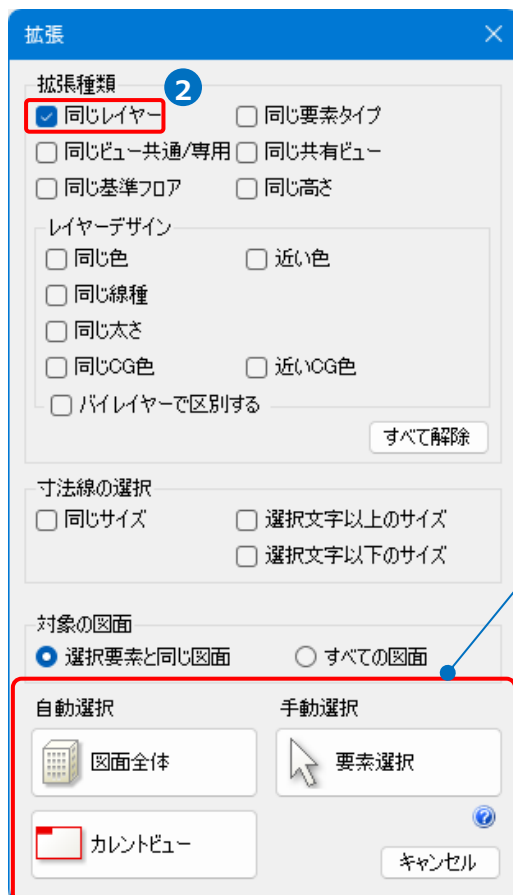


選択要素の拡張

- 要素を指定し、リボンの[要素選択]の[オプション]-[選択要素の拡張]をクリックします。



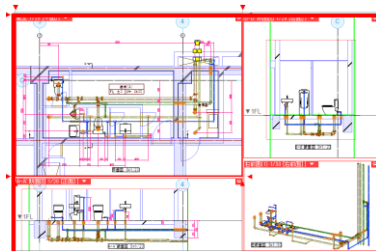
- [拡張]ダイアログの[同じレイヤー]にチェックを入れます。
[自動選択]で「図面全体」または「カレントビュー」をクリックすると同じレイヤーの要素をまとめて選択することができます。ここでは「カレントビュー」を指定します。



自動選択

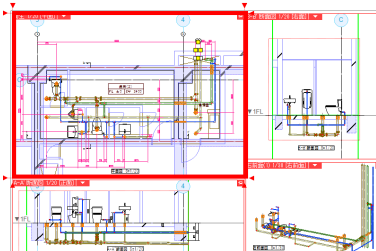
「図面全体」

最初に選択した要素と同じレイヤーの要素をすべてのレイアウトから選択します。



「カレントビュー」

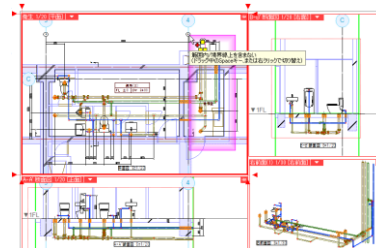
操作中のビュー(カレントビュー)内で最初に選択した要素と同じレイヤーの要素を選択します。



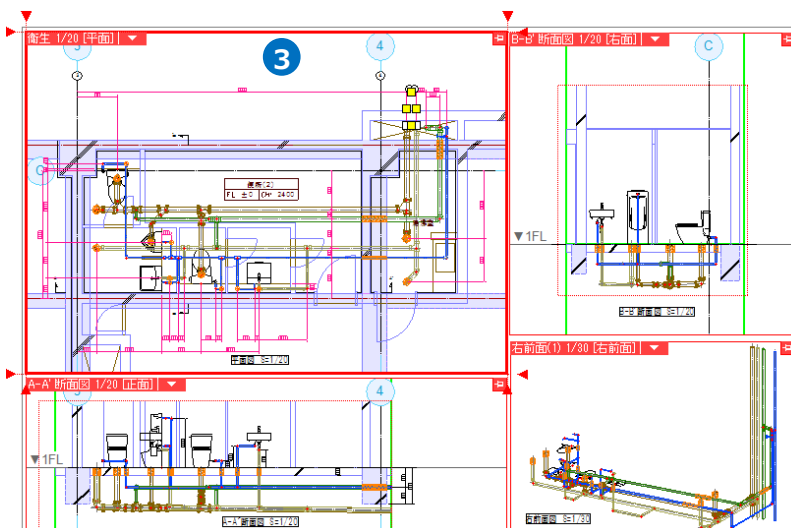
手動選択

「要素選択」

図面上で要素選択、範囲選択すると、最初に選択した要素と同じレイヤーの要素を選択します。



- 3 要素を選択したビューで同じレイヤーの要素が選択されます。

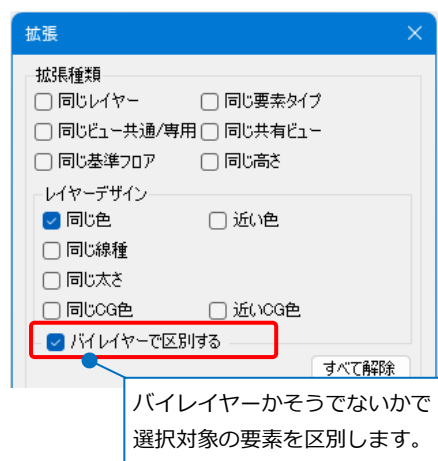


● 補足説明

[拡張]ダイアログのレイヤーデザインで、選択した要素と[同じ色][近い色][同じ線種][同じ太さ][同じCG色][近いCG色]から拡張選択できます。

[バイレイヤーで区別する]にチェックを入れると、バイレイヤーかそうでないかで対象を区別します。選択している要素がバイレイヤーの要素の場合は、バイレイヤーの要素が、バイレイヤー以外の要素の場合は、バイレイヤー以外の要素が選択されます。

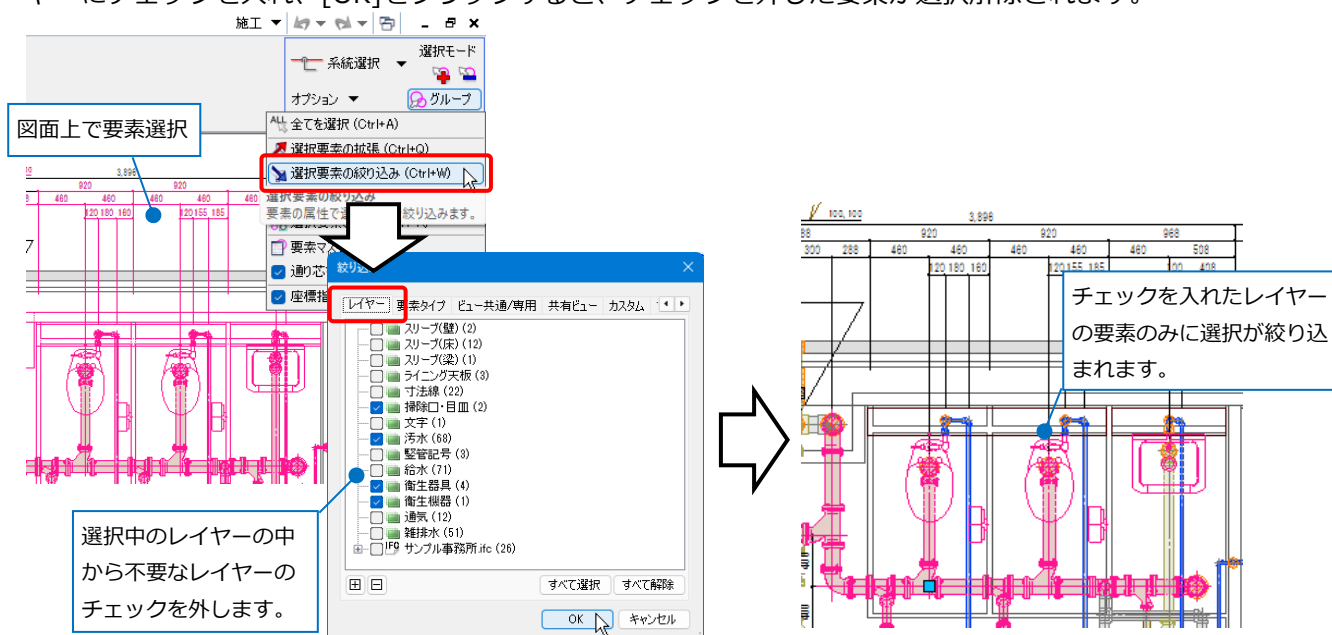
両方の要素が選択されている場合やチェックを外した場合は、どちらの要素も区別なく選択されます。(バイレイヤーについてはp. 9参照)



選択要素の絞り込み

選択した複数の要素からレイヤー単位で要素を絞り込みます。

リボンの[要素選択]パネルの[オプション]-[選択要素の絞り込み]で、[レイヤー]タブから選択したいレイヤーにチェックを入れ、[OK]をクリックすると、チェックを外した要素が選択解除されます。

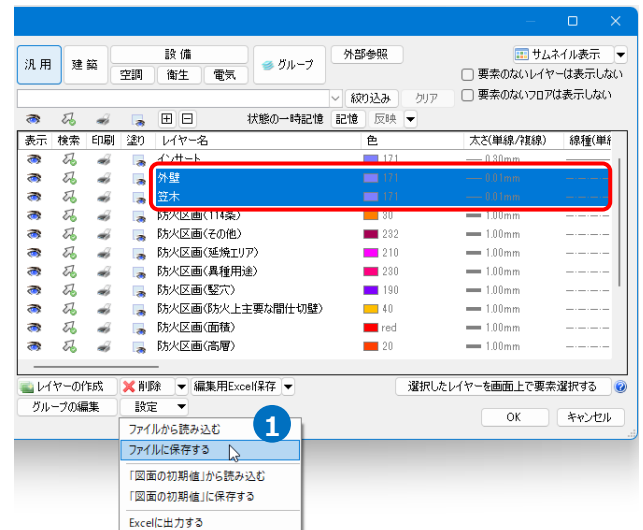


6. レイヤーの受け渡し

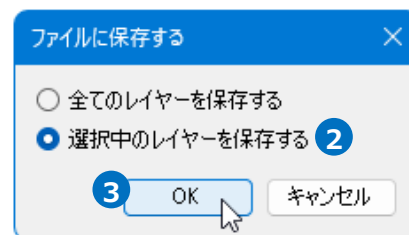
作成したレイヤーを他の図面で使用する

レイヤーは図面ごとに設定されます。作成したレイヤーを他の図面に追加するには、レイヤー設定ファイルを作成し、別の図面で読み込みます。

- 1 [レイヤー一覧]で他の図面に追加するレイヤーを選択し、[設定]-[ファイルに保存する]をクリックします。

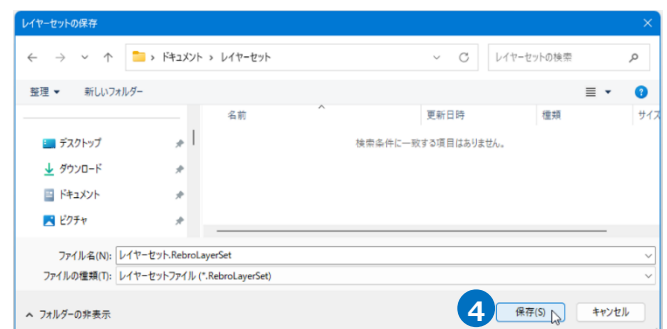


- 2 [ファイルに保存する]ダイアログで「選択中のレイヤーを保存する」を選択し、レイヤーセットのファイル(*.RebroLayerSet)を保存します。
※「全てのレイヤーを保存する」を選択すると、その図面の全てのレイヤーを保存します。



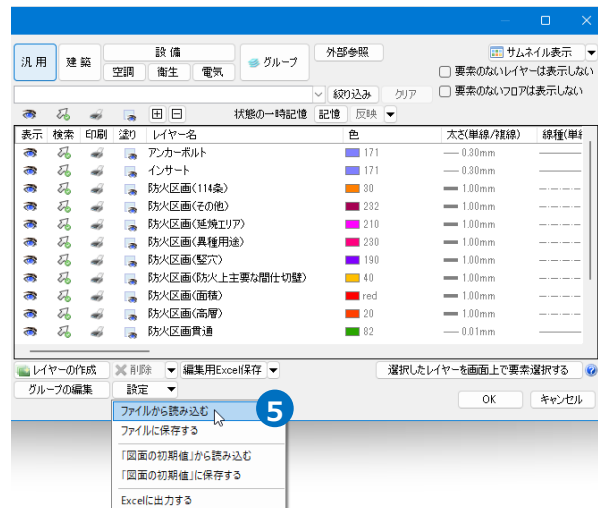
- 3 [OK]をクリックします。
→[レイヤーセットの保存]ダイアログが表示されます。

- 4 [レイヤーセットの保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。
→レイヤーの設定ファイル(*.RebroLayerSet)を保存します。

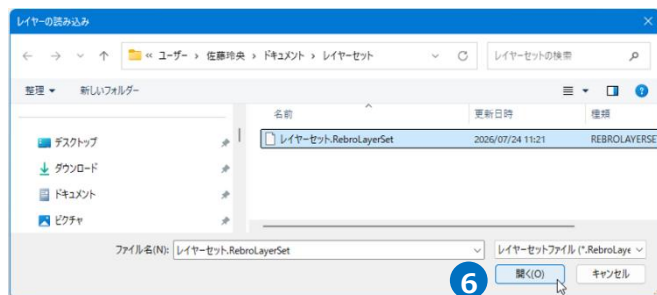


- 5 保存したレイヤーの設定を他の図面で読み込みます。

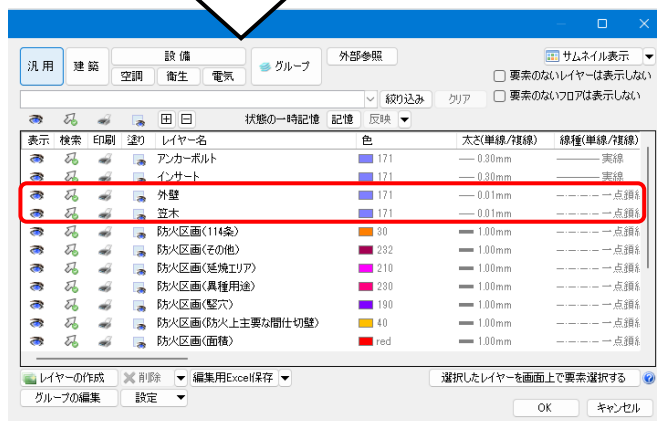
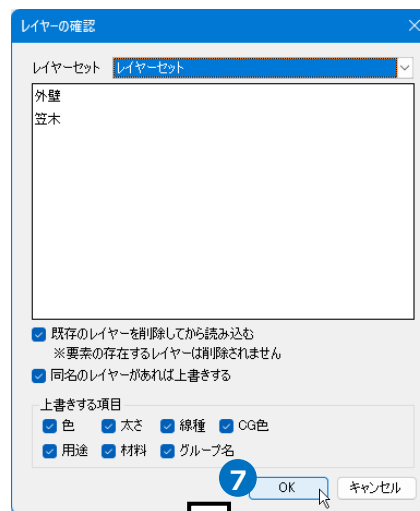
レイヤーを追加する図面を開き、[レイヤー一覧]の[設定]-[ファイルから読み込む]をクリックします。



- 6 [レイヤーの読み込み]ダイアログから読み込むレイヤーの設定ファイル(*.RebroLayerSet)を選択し、[開く]をクリックします。

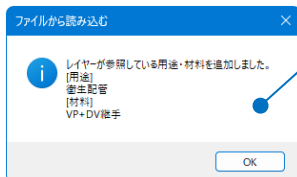


- 7 [レイヤーの確認]ダイアログで、読み込むレイヤーが表示されます。[OK]をクリックします。→レイヤーが追加されます。



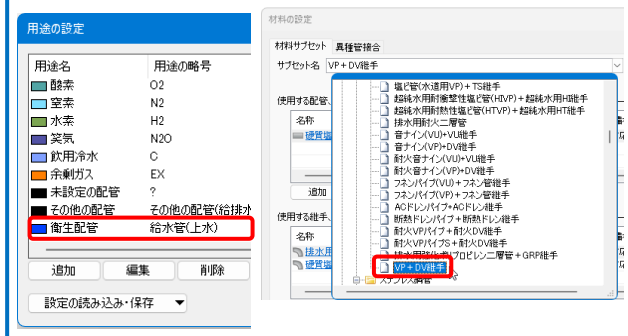
Memo

レイヤーの設定ファイルを読み込んだ時、追加するレイヤーに設定している用途、材料がない場合、その用途と材料も追加します。



設定ファイルを読み込む時、ダイアログを表示します。

[用途の設定][材料の設定]コマンドに新しい設定内容が追加されます。



[レイヤーの確認]ダイアログで、[既存のレイヤーを削除してから読み込む]にチェックを入れて[OK]をクリックすると、要素のないレイヤーを削除して追加します。



図面内で追加や内容を変更したレイヤーを、新規図面作成時の初期値に追加します。

-

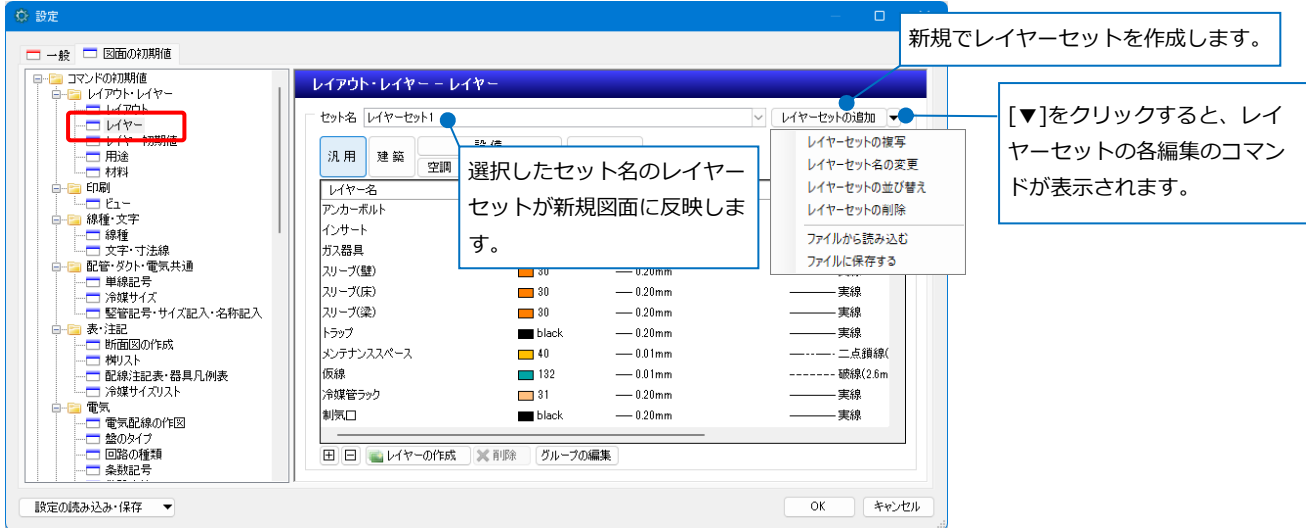
- レイヤーセット名を手入力し、新規作成することもできます。
- 「図面の初期値」に保存する
- レイヤーセット レイヤーセット1
- ☐ 全てのレイヤーを保存する
- ☒ 選択中のレイヤーを保存する
- 2 OK キャンセル

「全てのレイヤーを保存する」を選択した場合、図面内のレイヤーをすべて保存します。

● 補足説明

[設定]の[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[レイヤー]の「セット名」で指定したレイヤーセットが、レブロ起動時や[ホーム]タブ-[新規図面]で開いた図面に反映します。

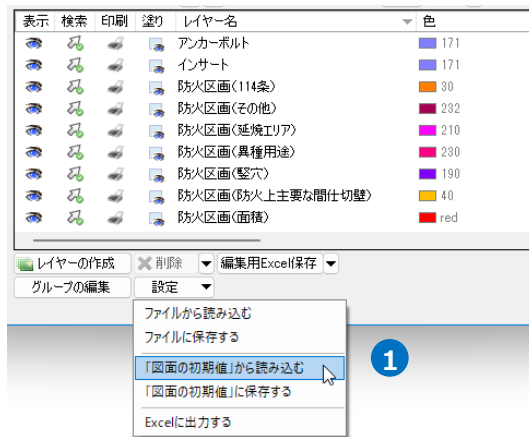
レイヤーセットは複数登録することができ、どのセットを使用するか選択ができます。



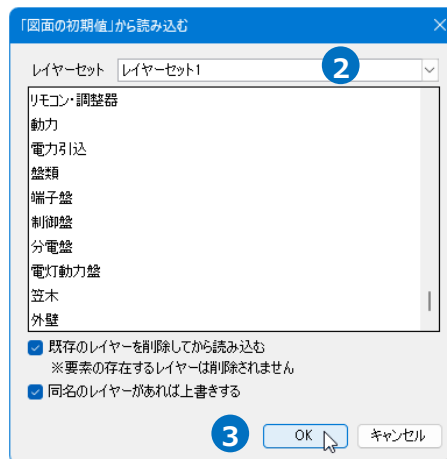
図面の初期値のレイヤーを既存の図面に追加する

図面の初期値で使用しているレイヤーセットを現在開いている図面に読み込みます。

- 1 [レイヤー一覧]の[設定]-[「図面の初期値」から読み込む]をクリックします。



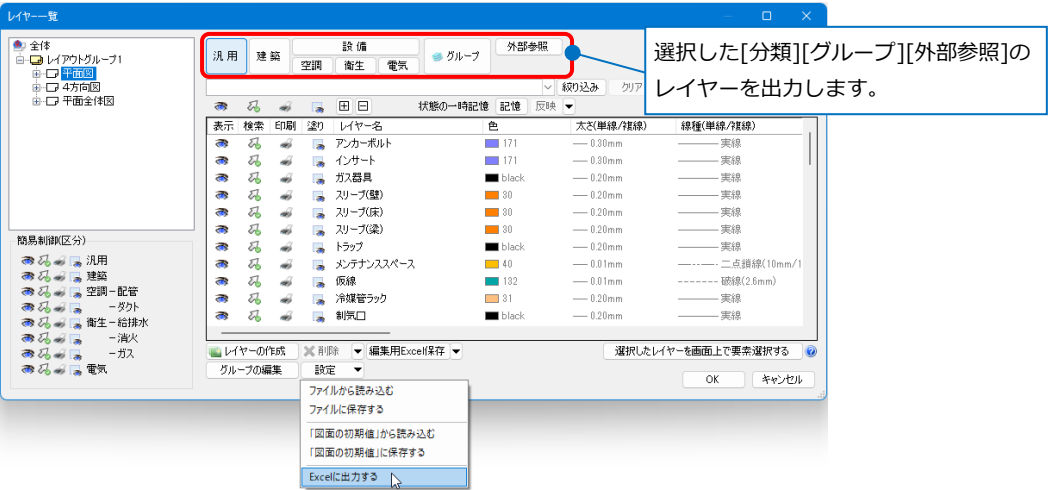
- 2 [「図面の初期値」から読み込む]ダイアログから読み込むレイヤーセットを選択し、追加するレイヤーを確認します。



- 3 [OK]をクリックします。
→レイヤーが追加されます。

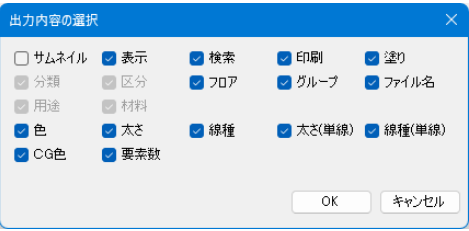
● 補足説明

[レイヤー一覧]の[設定]-[Excelに出力する]より、レイヤー一覧の内容をExcelファイルに出力できます。
レイヤー選択エリアに表示されているレイヤーの情報を出力するため、あらかじめ[分類][グループ][外部参照]ボタンを選択し、出力したい情報を表示してから出力します。



[出力内容の選択]ダイアログでチェックを入れた項目を出力します。

※出力した内容の編集を行っても読み込みはできません。レイヤーの情報を編集して読み込みしたい場合は、[編集用Excel保存]を使用します。(次ページ参照)

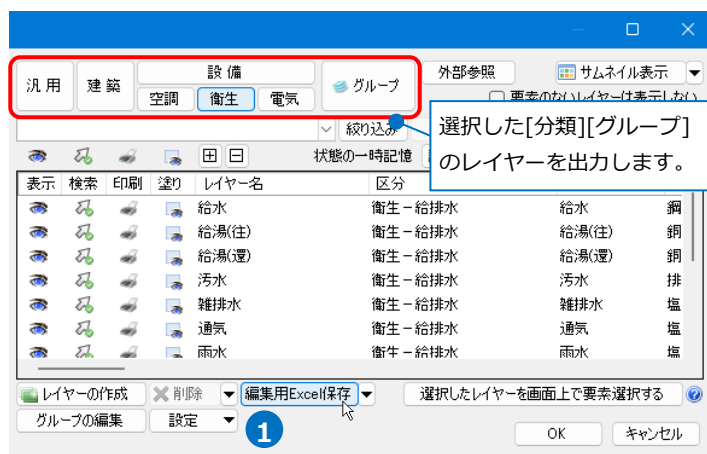
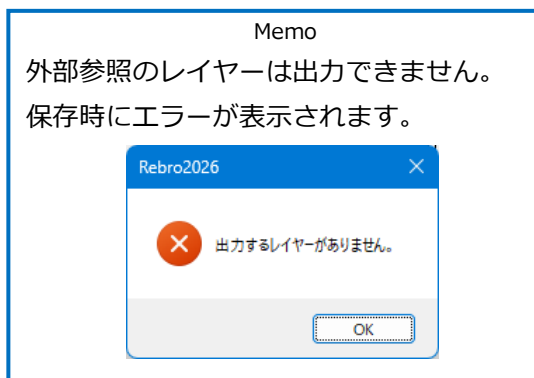


表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	色	太さ	太さ(単線)	線種	線種(単線)	CG色	要素数	フロア	グループ	ファイル名
☐	☐	☐	☐	アンカーボルト	171	0.30mm		実線		レ	0	01FL 02FL	スリーブ・インサート	
☐	☐	☐	☐	インサート	171	0.30mm		実線		レ	0	01FL 02FL	スリーブ・インサート	
☐	☐	☐	☐	ガス器具	black	0.20mm		実線		(86	0	01FL 02FL	機器器具	
☐	☐	☐	☐	スリーブ(壁)	30	0.20mm		実線		レ	0	01FL 02FL	スリーブ・インサート	
☐	☐	☐	☐	スリーブ(床)	30	0.20mm		実線		レ	0	01FL 02FL	スリーブ・インサート	
☐	☐	☐	☐	スリーブ(梁)	30	0.20mm		実線		レ	0	01FL 02FL	スリーブ・インサート	
☐	☐	☐	☐	トラップ	black	0.20mm		実線		レ	0	01FL 02FL	機器器具	
☐	☐	☐	☐	メンテナンススペース	40	0.01mm		二点鎖線(10mm/1mm)		レ	0	01FL 02FL	汎用	
☐	☐	☐	☐	仮線	132	0.01mm		破線(2.6mm)		レ	0	01FL 02FL	汎用	
☐	☐	☐	☐	冷媒管ラック	31	0.20mm		実線		灰	0	01FL 02FL	機器器具	
☐	☐	☐	☐	制気口	black	0.20mm		実線		(16	0	01FL 02FL	機器器具	

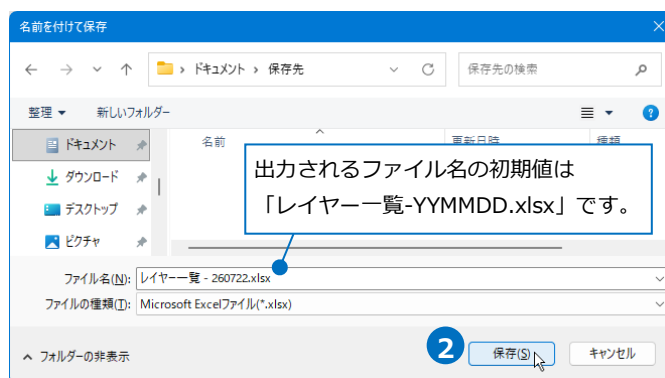
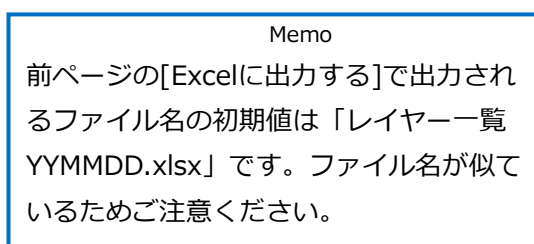
Excelを使用してレイヤーの内容を変更する

編集用Excelを使用すると、出力したExcelファイルを編集してレイヤーの内容を変更することができます。既存の図面のレイヤーだけでなく、別の図面に反映させることも可能です。

- 1 [レイヤー一覧]でレイヤー選択エリアに表示されているレイヤーの情報を出力します。
[分類][グループ]ボタンを選択し、[編集用Excel保存]をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。



- 3 保存したExcelを開き、レイヤーの情報を編集します。編集後、上書き保存します。
新しくレイヤーを追加する場合は、Excelで行を挿入し設定します。

グループ	ファイル名	レイヤー名	分類	用途	材料	色	太さ	太さ(単線)	線種	線種(単線)
衛生		給水	設備	給水	¥配管材料¥銅管¥銅管(SGP-VB) + ねじ	160	0.20mm	0.30mm	実線	実線
衛生		給湯(往)	設備	給湯(往)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)	11	0.20mm	0.30mm	実線	実線
衛生		給湯(還)	設備	給湯(還)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)	13	0.20mm	0.30mm	実線	実線
衛生		汚水	設備	汚水	¥配管材料¥銅管¥排水用塩ビライニング銅管 (DVLP) + MD継	44	0.20mm	0.50mm	実線	実線



グループ	ファイル名	レイヤー名	分類	用途	材料	色	太さ	太さ(単線)	線種	線種(単線)
衛生		給水	設備	給水	¥配管材料¥銅管¥銅管(SGP-VB) + ねじ/フランジ	160	0.10mm	0.20mm	破線(1.8mm)	破線(1.8mm)
衛生		中水	設備	中水	¥配管材料¥銅管¥銅管(SGP-VA) + ねじ	161	0.20mm	0.30mm	実線	実線
衛生		給湯(往)	設備	給湯(往)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)	11	0.20mm	0.30mm	実線	実線
衛生		給湯(還)	設備	給湯(還)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)	13	0.20mm	0.30mm	実線	実線

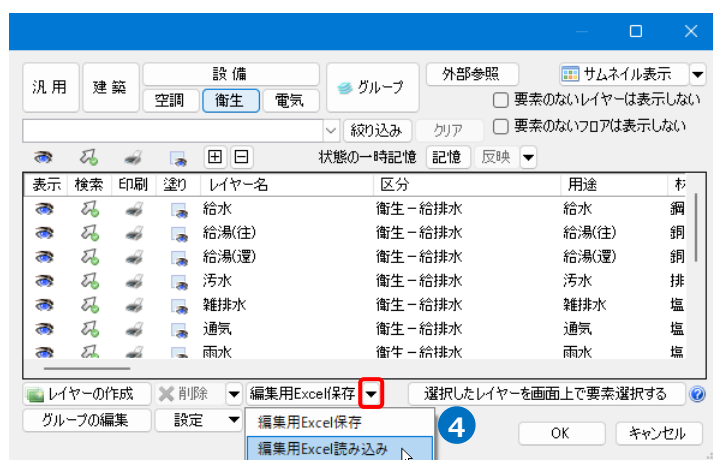
● 補足説明

出力したExcelの「レイヤー一覧」シートを編集します。それ以外のシートを編集してもレブロには読み込みません。

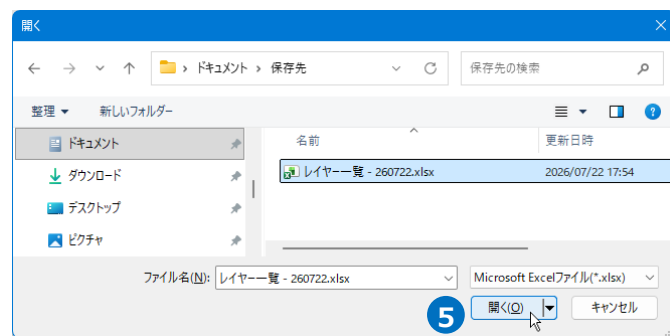
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		グループ	ファイル名	レイヤー名	分類	用途	材料
3		衛生		給水	設備	給水	¥配管材料¥銅管¥銅管(SGP-VB) + ねじ
4		衛生		給湯(往)	設備	給湯(往)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)
5		衛生		給湯(還)	設備	給湯(還)	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)
6		衛生		汚水	設備	汚水	¥配管材料¥銅管¥排水用塩ビライニング銅管(DVLP) + MD継手
7		衛生		雑排水	設備	雑排水	¥配管材料¥硬質塩ビ管(白Sch40) + ねじ[防災用]
8		衛生		通気	設備	通気	¥配管材料¥硬質塩ビ管(白Sch40) + ねじ[防災用]
9		衛生		雨水	設備	雨水	¥配管材料¥硬質塩ビ管(白Sch40) + ねじ[防災用]
10		衛生		屋内消火栓	設備	屋内消火栓	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)
11		衛生		屋外消火栓	設備	屋外消火栓	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)
12		衛生		連続排水	設備	連続排水	¥配管材料¥銅管¥銅管(Mタイプ)

「レイヤー一覧」シート以外の編集は反映されません。

- 4 [レイヤー一覧]で[編集用Excel保存]横の[▼]より[編集用Excel読み込み]をクリックします。



- 5 [開く]ダイアログで編集したExcelを選択し、[開く]をクリックします。
→Excelで編集した内容が反映されます。

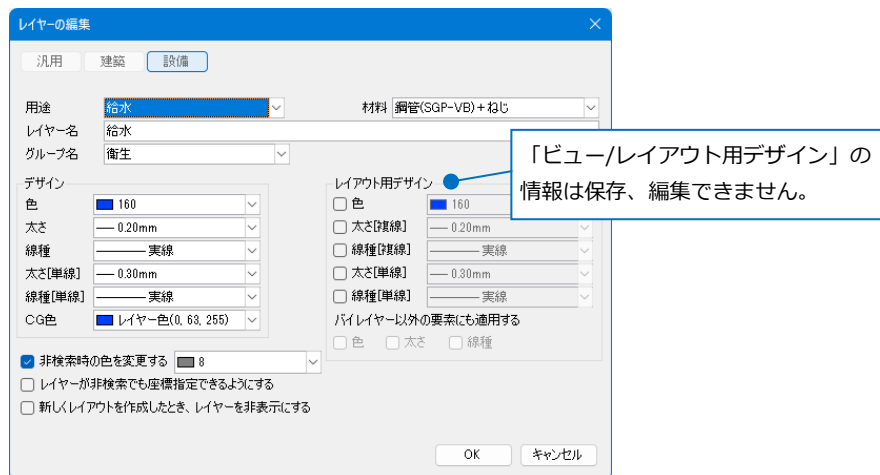



	汎用	建築	設備	グループ	外部参照
			空調	衛生	電気

表示	検索	印刷	塗り	レイヤー名	区分	用途	材料	色
				給水	衛生 - 給排水	給水	銅管(SGP-VB) + ねじ/フランジ	160
				給湯(往)	衛生 - 給排水	給湯(往)	銅管(Mタイプ)	11
				給湯(還)	衛生 - 給排水	給湯(還)	銅管(Mタイプ)	13
				汚水	衛生 - 給排水	汚水	排水用塩ビライニング銅管(DVLP) + MD継手	44
				雑排水	衛生 - 給排水	雑排水	塩ビ管(VU) + VU-DV継手	53
				通気	衛生 - 給排水	通気	塩ビ管(VU) + VU-DV継手	84
				雨水	衛生 - 給排水	雨水	塩ビ管(VU) + VU-DV継手	145
				中水	衛生 - 給排水	中水	銅管(SGP-VA) + ねじ	161
				屋内消火栓	衛生 - 消火	屋内消火栓	銅管(白) + ねじ[防災用]	201

● 補足説明

[編集用Excel読み込み]では、図面内の既存レイヤーとレイヤー名が一致する場合に設定を上書きします。一致するレイヤー名がない場合は新規で追加します。既存のレイヤーの削除やレイヤー名の変更、レイヤーの状態(表示/検索/印刷/塗り)の変更はできません。保存、編集できる内容は、[レイヤーの編集]で変更できる内容と同一です。([レイヤーの編集]についてはp.16参照)



また、読み込み時に不正な状態のデータが読み込まれた場合は、[メッセージ]パネルにエラー内容を出力して読み込みをスキップします。

